令和2年版 消防年報

小野市消防本部 令和3年刊行

はじめに

この年報は、令和2年中における小野市消防本部の主な消防事情について 収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般 に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料として ご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の必要な資料については、当該表 に年月日を記載いたしました。

令和3年7月

小野市消防本部

消防訓

我々消防人は

ゆ た かな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

昭和六十三年三月七日制定治体消防制度四十周年記念

自

目 次

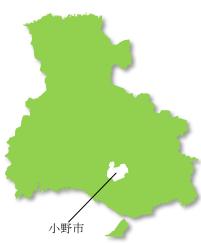
<u>Ш</u>	小野中の概要	<u> </u>		16
	一目統計	2	□ 一般家庭・高齢者(独居)家庭の防火診断実施状況	16
	消防機関配置図	3_	□ 中高層建築物等状況	16
	消防庁舎の概要	4	□ 危険物施設状況	17
	小野消防の現況	4	許可・完成検査・承認数状況	17
	小野市の平均	4	□ 危険物規制事務処理状況	18
	小野市消防本部の組織図	5_	□ 危険物施設・少量危険物施設立入検査状況	18
	小野消防の推移	6	□ 過去5年間の危険物施設数(完成検査済)状況	19
			□ 手数料収入額状況	19
	【総務】		□ 県委譲事務処理状況	19
	予算の内訳・前年度比較	7	□ 防火防災組織の状況	20
	消防職員の表彰等状況	7_		
	消防職員年齡別状況	8_	【消 防】	
	消防職員の学校教育状況	9_	□ 令和2年火災概要	21
	消防職員の配置状況	10	口 火災状況前年比較	22
	消防力の現勢	10	口 火災発生状況10年比較	23
	消防職員の免許・資格所有状況	11	口 月別火災発生状況	24
	令和2年度消防施設整備事業	12	□ 時間別・曜日別火災発生状況	25
			口 月別・曜日別建物火災発生状況	26
	【予防】		口 建物用途別火災発生状況	26
	消防用設備等設置状況	13	口 出火原因別発生状況	27
	防火対象物の状況	14	□ 損害額発生状況	28
	月別・地区別建築同意状況	15	口 地区別火災発生状況	29
	用途・工事別建築同意状況	15	口 地区別火災発生状況全体図	30

消防水利状況	31	【指 令】
過去10年間の降雨量	31	□ 消防通信系統図 49
消防機械器具保有状況 32-2	~36	□ 119番通報状況 50
消防車両一覧表	37	□ 119番による□頭指導実施状況 51
消防署出動状況	38	□ 情報テレフォンサービス利用件数 51
小野市火災予防条例に関する届け出状況	38	□ 消防無線一覧 52
		□ 気象状況 53
【救 急】		
令和2年救急概要	39	【消防団】
救急出場件数•地区別•月別救急概要	39	□ 消防団組織 54
救急概要•搬送人員状況	40	□ 令和2年度消防団行事 55
年齡•性別搬送人員比較	41	□ 消防力の現況 55
救急所要時間状況	42	□ 消防団員出動状況 56
事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数	43	□ 消防団員の在職年数状況 56
急病件数に対する過去5年間の比較	43	□ 年齡別消防団員数 57
医療機関平均交渉回数•平均交渉時間受入不可理由	43	□ 消防団員等公務災害発生状況 58
		□ 消防団表彰状況 58
【救助】		□ 消防自動車の現況 59
令和2年救助概要	44	
救助状況前年比較	45	
月別救助発生状況	45	
時間別救助発生状況	46	
曜日別救助発生状況	46	□ 小野市消防の沿革 60~65
地区別救助発生状況	47	□ 消防応援協定の締結状況 66
地区別救助発生状況全体図	48	□ 標語・小野市防火ポスター 67

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、 北緯34度50分の地点にあります。市の面積は92.94k㎡で、東西 に11.8km、南北に11.2kmの広がりを有し、東と北は加東市、西 は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。

小野市の大部分は平地で、西南端の一部に山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候です。年間降水量は、平均約1,000mmで全国的にみても少ない値となっています。



小野市は、古来から加古川中流域の文化の中心部として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。

この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街としての小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。

一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

当市消防本部は、市街地を主に管轄する本署、市南部の工業団地や山陽道を主に管轄する南分署に加え、平成30年4月に念願の第3の消防拠点である「消防署北分署」を開設しました。北分署は下東条地区一帯、河合地区など、市北部を管轄し、これにより救急車が市内全域、10分以内の現場到着の実現、迅速な救急活動が可能となりました。さらに、令和2年7月からは、全国に先駆けて映像通報システム「LIVE119」の運用を開始し、通報者等の協力で現場の状況を映像としてリアルタイムで確認することができるようになり、より円滑・適切な現場活動に繋げています。

また、職員の勤務環境についても随時改善を行っており、令和元年11月には、南分署の大改修工事が完了し、全消防署における仮眠室の個室化と女性職員が勤務できる環境が整い、令和2年3月には、国内の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2部制勤務から3部制勤務体制に移行し、署内における感染症の蔓延防止・予防対策を行っております。



小野市章「小」を図案化し、ひらがなの「の」で囲ったものです。



●市花:ひまわり ひまわりは、明るく健康的で雄大 である反面、謙譲の美徳を兼備し ており、発展していく小野市を象 徴する。

一目統計

	令和3年4月1日現在 令和3年4月1日現在		令和3年度	令和3年4月1日現在	
面 積	人口	世帯数		署所	
	六 合計 47,961人	(F) (T) (E) (F)	21,600,000千円		
		20 240##			
92. 94 km²	男性 23,564人	20,249世帯	【うち消防予算】	消防署 1	
	女性 24,397人		800,461千円	分 署 2	
令和3年4月1日現在	令和3年4月1日現在	令和3年4月1日現在	令和2年中	令和2年中	
消防車両	消防職員数	消防団員	火 災	救 急	
			77.4-11.1/5	77. 11 111 115	
消防車 7台	定 員 80人	定 員 700人	発生件数 24件	発生件数 2,136件	
消防車7台救急車4台	定 員 80人 実 員 73人	定員700人実員661人		発生件数 2,136件 搬送人員 1,996人	
			 うち建物火災 10件		
救急車 4台 その他の車両 8台	実 員 73人	実 員 661人	 うち建物火災 10件	搬送人員 1,996人	
救急車 4台 その他の車両 8台	実 員 73人 うち女性 3人	実員 661人 うち女性 15人	 うち建物火災 10件	搬送人員 1,996人	
救急車 4台 その他の車両 8台	実員 73人 うち女性 3人	実 員 661人 うち女性 15人 ・ 15人	うち建物火災 10件 損害額 10,964千円 令和3年4月1日現在 自主防災組織数	搬送人員 1,996人 現場まで平均 約7.0分	
救急車 4台 その他の車両 8台	実 員 73人 うち女性 3人	実 員 661人 うち女性 15人	うち建物火災 10件 損害額 10,964千円 令和3年4月1日現在	搬送人員 1,996人 現場まで平均 約7.0分	
救急車 4台 その他の車両 8台	実 員 73人 うち女性 3人 うち女性 3人 ^{令和2年中} その他の災害	実 員 661人 うち女性 15人 ・ 15人	うち建物火災 10件 損害額 10,964千円 令和3年4月1日現在 自主防災組織数	搬送人員 1,996人 現場まで平均 約7.0分 令和3年4月1日現在 危険物施設数	

消防機関配置図



消防署南分署

消防庁舎の概要

庁 舎 名	所 在 地	開署年月日	構造	建築面積	延面積	備考	
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6 m²	3087.3 m²	女性吏員の職場環境整備済み	
小野市消防署	小野市池尻町	平成4年4月1日	鉄筋コンクリート造	510.85 m²	696.35 m²	令和元年11月大改修	
南 分 署	628番地の161		地上2階建			女性吏員の職場環境整備済み	
小野市消防署	小野市古川町	平成30年4月8日	鉄骨造	369.02 m²	324 m²	女性吏員の職場環境整備済み	
北 分 署	1250番地	<u>十</u> ルス30十4月6日	平屋建	509.02III	344III	女性史貝の職場環境整備済み	

小野消防の現況

(令和3年4月1日現在)

常	署所	消防職員	消防ポンプ車等	35m級はしご車	救助工作車	高規格救急車
備	3	73	5	1	1	4
非常	団本部	分団数	消防団員数	消防自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
備	1	6	661	6	49	54

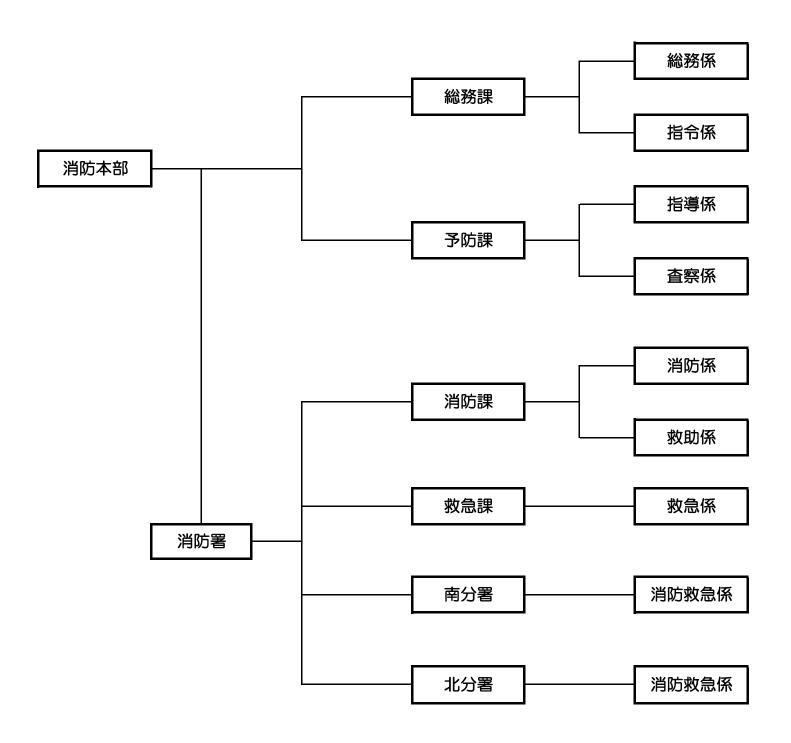
小野市の平均

(令和3年4月1日現在)

小野市の人口	47, 961人	人口密度	516人/k㎡
小野市の世帯数	20, 249世帯	1世帯あたりの人口	2. 37人
小野市の予算 (うち消防予算)	21, 600, 000千円 (800, 461千円)	市民1人あたり (うち消防予算)	450, 366円 (16, 690円)
火災発生件数	24件	火災出場	15日に1件
救急発生件数	2, 136件	救急出場1日あたり	5. 9件
救急搬送人員	1, 996人	救急車利用	24人に1人

小野市消防本部の組織図

令和3年4月1日現在



小野消防の推移

区分	人	世	消	消	火	火	焼	救	搬	
	, ,	_	防	防		災			送	備
		-1114	,	団	災		死	急		VIII
		帯	職	定	l H-	損	者	件	人	
			員	員	件	害	白	1+	員	
	口	数	数	数	数	額	数	数	数	考
年次 \	(人)	(人)	(人)	(人)	(件)	(千円)	(人)	(件)	(人)	·
S40	37,159	8,035	17	1,414	46	3,655	() 1)	26	31	昭和40年4月
S45	38,141	8,767	25	1,144	35	47,741		376	391	消防本部発足
S50	40,494	9,870	31	1,060	25	5,647	1	730	680	
S55	43,686	11,239	33	1,060	44	21,237		775	757	昭和41年12月
S56	44,189	11,493	34	1,060	56	37,550	1	738	719	救急業務開始
S57	44,562	11,643	36	1,060	55	125,784		717	718	
S58	45,026	11,856	36	1,060	64	47,872		819	804	昭和46年6月
S59	45,364	12,015	38	1,044	51	17,571		814	808	消防本部移転
S60	45,684	12,206	39	1,044	63	136,283	1	852	861	
S61	45,870	12,323	39	1,044	64	72,307	6	863	870	平成4年4月
S62	45,948	12,370	39	1,044	62	241,457	3	825	837	南分署開設
S63	45,946	12,463	41	1,044	48	64,978	1	865	873	
H1	46,083	12,580	42	1,044	35	20,680	1	916	963	平成26年4月
H2	46,244	12,750	45	1,044	42	77,376	1	958	983	防災センター開設
Н3	46,480	12,957	49	1,044	44	34,744		1,008	1,048	消防本部•消防署移転
H4	46,885	13,298	51	1,044	31	30,588		1,049	1,084	市北部に救急隊派遣
H5	47,466	13,709	54	1,044	35	42,928	1	1,008	1,017	
H6	47,884	14,044	56	1,044	70	22,433		1,032	1,061	平成30年4月
H7	48,491	14,493	57	1,044	70	141,904	1	1,191	1,254	北分署開設
H8	48,828	14,775	58	1,044	76	369,276	1	1,250	1,292	
H9	49,197	15,042	59	1,044	42	51,163	1	1,283	1,335	令和元年11月
H10	49,533	15,377	60	1,044	36	30,758		1,283	1,312	南分署大改修工事
H11	49,961	15,796	60	874	42	62,609		1,225	1,240	A Tuakea H
H12	50,309	16,100	60	874	49	59,588	1	1,370	1,429	令和2年3月
H13	50,383	16,223	60	874	54	76,348	1	1,364	1,435	2部から3部勤務体制に移行
H14	50,441	16,441		874		128,900		1,421	1,456	
H15	50,601	16,712	60	874	22	2,297	1	1,453	1,486	
H16	50,653	16,919	62 63	874	36	73,103	1 3	1,570		
H17 H18	50,562	17,111	63	874 874	40 24	30,707 140,682	ა 1	1,702	1,696	
H19	50,463	17,407 17,624	64	874	34	ŕ	1	1,734 1,725	1,724	
	50,415	·	64		31	30,747	1		1,705	
H20	50,390	17,887 18,212		874	21	622,862	1	1,724	1,692	
H21	50,478		64	874		19,579		1,754	1,678	
H22 H23	50,540 50,485	18,460 18,656	64 64	700 700	19 29	8,349 129,487	1	1,816 1,834	1,727 1,742	
H24	50,364	18,823	64	700	29	102,297	1	1,902	1,811	
H25	50,364	19,028	63	700	18	6,291		1,919	1,834	
H26	49,903	19,028	65	700	22	36,228	1	2,108		
H27	49,495	19,249	66	700	14	55,817	1	2,136	1,986	
H28	49,493	19,332	67	700	20	16,075	3	2,130	2,178	
H29	49,103	19,567	68	700	22	67,501	1	2,260	2,178	
H30	48,808	19,782	70	700	21	650,448	1	2,342	2,219	
R1	48,560	19,951	73	700	22	147,628	3	2,310	2,177	
R2	48,356	20,197	73	700	24	10,964	J	2,136	1,996	
R3	47,961	20,249	73	700	1 1	10,001		2,100	1,000	
	□ #1,301			100						l

[※] 人口・世帯数は、4月1日現在

[※] 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

[※] 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(単位:千円)

年度別 区分		令和2年度	令和3年度	前年度比較	増減率
	一般会計	22,200,000	21,600,000	△ 600,000	-2.7%
	消防費	939,393	800,461	△ 138,932	-14.8%
	常備消防費	776,853	684,935	△ 91,918	-11.8%
	非常備消防費	55,128	52,999	△ 2,129	-3.9%
	消防施設費	107,272	62,377	△ 44,895	-41.9%
	水防費	140	150	10	7.1%
	消防費比率	4.2%	3.7%	-0.5%	



消防職員の表彰等状況

年度別					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
区分					
消防庁長官表彰	1	1	1	1	1
全国消防長会(消防特別功労)		1			
全国消防長会(功労、永年勤続)		2	1	3	2
全国消防協会表彰(優良消防職員)					
県知事表彰(功労、永年勤続)	3	4	5	4	6
市長表彰(功労、永年勤続)	3	4	4	2	2
消防長表彰(功労、永年勤続)	3	3	2		
署長表彰(功績)	6	7			

消防職員年齡別状況

(令和3年4月1日現在)

					I		\	〒和3 平 4人	, = , : , 2 ,,
階級	小計		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
年齢	7 Н Г	うち女性	113123 - 3 10 32	114152 - 4 14	113123 - 3 14 1115	11303 - 12	170781-12	11303 -	7-100 PK
18歳	1							1	
19歳	1							1	
20歳	2							2	
21歳	0								
22歳	0								
23歳	1							1	
23歳	2						2	1	
	3						3		
25歳									
26歳	2						2		
27歳	1					1			
28歳	1					1			
29歳	1					1			
30歳	3					3			
31歳	1					1			
32歳	2	1				2	<u> </u>		
33歳	0								
34歳	2	1				2			
35歳	2				2				
36歳	1				1				
37歳	2				2				
38歳	2				2				
39歳	2				2				
40歳	2				2				
41歳									
	1				1				
42歳	1				1				
43歳	1				1				
44歳	2				2				
45歳	1				1				
46歳	4			2 2	2				
47歳	3				1				
48歳	3			2	1				
49歳	4	1		3					1
50歳	2			1	1				
51歳	3				1				
52歳	2			2					
53歳	0								
54歳	3			3					
55歳	3			3					
56歳	1			1					
57歳	3		1	2					
			1						
58歳	0			0					
59歳	2			2					
60歳	0				0.5			_	
合計人数	73	3	1	25		11		5	
平均年齢	40.8	37.3	57.0	52.0	41.8	30.6	25.0	20.2	49.0

消防職員の学校教育状況

※事務職員除く

		年度別	平成	平 成	平 成	平 成	令 和	令 和	現職員除く
種			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	累計
	総合教育	新任消防長科							0
消		上級幹部科					1		1
防		幹部科	1						1
大学校	専科教育	予 防 科							0
字松		救 助 科							2
100		救 急 科							1
	緊急消防援	受助隊教育科 航空隊コー	ス						1
	初任教育	初 任 科	2	2	1	2	3	1	72
		災害現場指揮科	1		1		1		4
		警防科(警防課程含む)		1				1	19
		予防査察科(予防課程含む)	2		1		1		16
		危険物科		1					10
	専科教育	火災調査科	1	1	1		1		17
		救急科 救急科(標準課程含む	2	1		1	3	1	35
_		救急Ⅱ課程							31
兵庫		特殊災害科	1	1	1		1		11
県		救助科	1	1	1		1	2	28
県消		初級幹部科	2		1		1		11
防党	幹部教育	中級幹部科		1					5
防学校		上級幹部科		1					4
		はしご自動車科							11
		潜水科		4		2			15
		ポンプ操法講習会	4		5		2		50
	特別教育	惨事ストレス研修	1	1	1		1	1	13
		実火災体験型訓練コース			1		10	10	21
		山岳救助技術研修		2	2		1	2	16
		通信指令科					2		2
	救急救命士	養成課程	1	1	1		1	1	14
	予防査察基	。							4
	予防課程								1
	救急Ⅱ課程	1							4
神	救助課程								3
戸	警防課程								0
市	警防小隊長	課程							1
消防	警防指揮調	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							3
学	火災調査調								6
1.1.	化学災害対								1
	機械課程				1			1	9
	救急救命士								11
救急									3
		州研修所追加講習							2
-	<u>- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *</u>			1	2				28

消防職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

種	別 階級	合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
	条例定数	80			階 級	別定員	しなし		
	職員数	73	1	25	23	11	7	5	1
消	消防長	1	1						
防本	総務課	15		6	5	1		2	1
部	予防課	13		4	7	2			
	署長	1		1					
消	消防課	12		4	3		3	2	
防	救急課	5		2	1	2			
署	南分署	16		5	5	2	4		
	北分署	10		3	2	4		1	

消防力の現勢

(令和3年4月1日現在)

	区分	基準	現有	過不足	充 足 率
	署 所 数	3	3	0	100%
	消防ポンプ自動車	2	2	0	100%
	化学消防自動車	1	1	0	100%
+	高規格救急車	4	4	0	100%
車	35m級先端屈折式はしご車	1	1	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮広報車	1	1	0	100%
両	小型動力ポンプ付積載車		1		100%
1-1	水槽車		1	_	100%
	貨物車(資機材搬送車)	_	1	3 0 100% 2 0 100% 1 0 100% 4 0 100% 1 0 100% 1 0 100% 1 0 100% 1 0 100% 1 - 100%	
	軽四積載車	_	2	_	100%
	消防隊員	39	14	-25	35.9%
	救急隊員	36	21	-15	58.3%
人	救助隊員	15	3	-12	20.0%
	指揮隊員	9	6	-3	66.7%
	通信員	6	6	0	100.0%
員	予防要員	9	13	4	144.4%
	庶務の処理等の要員	11	6	-5	54.5%
	その他派遣	_	4	_	_
	合 計	125	73	-52	58.4%

消防職員の免許・資格所有状況

※事務職員除く

(令和3年4月1日現在)

			_ / / (, , ,	为椒貝你、			1 1113 十47	
	階 級 (人数) 種 別	消防司令長 (1)	消防司令 (25)	消防司令補 (23)	消防士長 (11)	消防副士長(7)	消防士 (5)	合 計 (72)
自	大型特殊一種	1	1	1				3
動	大型一種	1	24	22	10	2		59
車	中型一種	1	25	23	10	1		60
運転	普通一種	1	25	23	11	7	5	72
免	牽引一種			1				1
許	自動二輪		13	13	3			29
	甲種							0
<i>#</i> -	乙種 1類	1	1	1				3
危険	乙種 2類		3	1				4
物	乙種 3類	1	2	5	1	1		10
取	乙種 4類	1	15	20	11	6	1	54
扱者	乙種 5類		3	2	1			6
	乙種 6類		6	9	2	1		18
	丙種	1	16	2				19
消防	設備士 乙種第6類	1	3	2	1	1		8
	設備士 乙種第7類			1	1			2
	技術資格者(防火査察)	1	4	8	8			21
予防:	技術資格者(消防用設備等)	1	4	3	1			9
予防:	技術資格者(危険物)	1	6	7	5			19
救急	救命士		12	15	5	3	1	36
救急	科			9	9	4	2	24
救急	標準課程		3	5				8
救急	Ⅱ課程	1	22	7				30
	無線従事者	1	10					11
第1約	及特殊無線技士		1					1
	及特殊無線技士		14	23	11	7	3	58
アマラ	チュア無線技士	1	4					5
小型	船舶操縦士	1	7	1			1	10
小型	移動式クレーン	1	15	11				27
玉掛	技能	1	15	11				27
潜水	±		5	15	6	2	1	29
車両	系建設機械運転技能		2					2
ガス洋		1	3	1				5
特定	化学物質等作業主任者		7	1				8
防災	士		1	2				3

令和2年度消防施設整備事業

整備事業名	場所	数量	備 考
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	河合中町 黍田町 中番町	3	緊急防災減災事業
小型動力ポンプ整備事業	消防団南分団 特設部	1	緊急防災減災事業
小型動力ポンプ積載車整備事業	天神町 池田町	2	市補助事業(1/2)
消防指令システム更新事業	消防本部	1	

子防

消防用設備等設置状況

(令和3月3月31日現在)

																		1日瑪	1仕)
			俏	火	設	備		警	報	設	備		設備	排	連	連	消	非常	
\		消	屋	ス	水	屋	動	自	漏	火	非	避	誘		結	√ +-		専	自
	区分		内	プ	噴	外	力	動火	電	災	常			煙	21.7	結	防		
				IJ	霧	·	消	災	火	通	警	難			散	送		用	
		火	消	ン	消	消	防	報	災	報	報		導	÷п.	水	~	ш		家
F	用途別		火	ク	火	火	ポ	知	警			器		設	設	水	用	受	
				ラ	設		ン	設	報	設	設				臤				
		器	栓	Ì	備	栓	プ	備	器	備	備	具	灯	備	備	管	水	電	発
イ 1項	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2			1		2			2		2					2	2
	公会堂又は集会場	11	3					10			8		10						3
イ	キャバレー、カフェー等																		
2項	遊技場又はダンスホール	2						2			2		2						
² ・人	性風俗店等																		
=	カラオケボックス等	1						1			1		1						
3項	待合、料理店等																		
	飲食店	69						6			21	2	39						
4項	百貨店、マーケット、店舗	67	9	1	1	1		31			24		57	1		1	1	6	7
イ 5項	旅館、ホテル又は宿泊所	7	2					7	1	4	1	2	7			1		1	2
	寄宿舎、下宿又は共同住宅	295	3		1			48	10		35	39	10			4		3	3
イ	病院、診療所又は助産所	33	1	5	1			18	1	12	8	2	34			1	1	1	5
	老人福祉施設等	22	4	22				22		22	8	2	22			2		11	12
6項ーハ	老人デイサービスセンター等	33	1					22	1	4	2	3	22						
=	幼稚園又は特別支援学校	5	1					4			1		2					1	1
7項	小、中、高校、大学、各種学校	48	27					44			30	4	16			2		25	
8項	図書館、博物館、美術館	3	2					2	1									2	
_ 1	公衆蒸気浴場等																		
9項口	イ以外の公衆浴場	2	1					1			2		2					1	
10項	停車場等																		
11項	神社、寺院、教会等	13						1			2		1						
1	工場又は作業場		121		8	29	1	250			12		72			2	14	95	8
12項 口	映画スタジオ等																		
1	車庫又は駐車場	52			7			4		1									
13項	飛行機格納庫				-														
	倉庫	455	47	1	3	13		130					47			1	3	44	1
	その他の事業場	193		1	10	1		62			33	5	50		1	1		19	5
1	複合用途(特 定)	108	3	2	10	1		40		2	1		62		1	1		3	3
16項	複合用途(非特定)	64	2	1		1		8			9		4			1	1	1	1
16項の2		04	۷	1		1		O			9	4	4			1	1	1	1
-	準地下街																		
-		0						0											
-	重要文化財等の建築物	2						2											
18項	アーケード	0	05.1	0.0	0.1	4.0					0.1.5		400	-			0.5	61.7	
	合 計	2, 106	254	32	31	46	1	717	14	45	219	77	462	2	1	17	20	215	53

防火対象物の状況

(令和3年3月31日現在)

		防			r+ . 1 . A:	Ar = 101 → 1/2.				13年3月		
		l .		甲種	防火管	了理石	乙種		消防月点	報	検査第	e 他 级 設
		火	要	届届	消	要	届	消		告	,	HX.
	区分	対	選	出	防	選	出	防	検		17- 1	巫
		象		対	計	任	対	計一	対	済	防	置
		物	任		画			画 届	象	対		
	用途別	0)	対	象	届	対	象	出	物	象	査	検
		総	象	物	出	象	物	済		物		
		数	物	数	数	物	数	数	数	数	察	查
1項-	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	2	2				2	2		
\vdash	公会堂又は集会場	11	9	9	9				11	10	3	1
_	イキャバレー、カフェー等											
2項	遊技場又はダンスホール	2	2	2	2				2	2		
/	性風俗店等											
=	ニカラオケボックス等	1	1	1	1				1	1		
3項	7 待合、料理店等											
	文 飲食店	69	5	5	5	24	23	20	69	6	13	6
4項	百貨店、マーケット、店舗	67	24	24	24	22	19	17	67	43	5	4
5項	が館、ホテル又は宿泊所	7	4	4	4				7	5		
	寄宿舎、下宿又は共同住宅	295	35	35	26				295	127	7	2
-	イ 病院、診療所又は助産所	33	14	14	14	1	1	1	33	21	4	2
I I	2 老人短期入所施設等	22	18	18	18				22	20	6	4
6項ー	> 老人デイサービスセンター等	33	18	18	18	2	2	2	33	28	5	2
3	- 幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5		
7項	小、中、高校、大学、各種学校	48	15	15	15	2	2	2	48	48	6	3
8項	図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	3	1	1
9項-	1 イ以外の公衆浴場	2	1	1	1				2	1		
10項												
11項	神社、寺院、教会等	13	2	2	2				13	7	2	1
	「工場又は作業場	619	52	52	46				619	348	78	36
12項	1 映画スタジオ等			J-1	10					2 10		55
	「車庫又は駐車場	52							52	24		
13項-	平岸久16点上平// 2 飛行機格納庫	52							52	21		
14項		455	4	4	4				455	210	12	5
15項		193	35	32	32	4	3	3	193	80	20	6
	複合用途(特 定)	108	26	26	24	10	10	9		53	7	2
16項		-	7	∠6 7	5			3			1	
	2 複合用途(非特定)	64	1	1	Э	4	4	3	64	26		
	2 地下街											
	3 準地下街											
17項		2	1	1					2	2		
18項												
	合 計	2, 106	280	277	257	69	64	57	2, 106	1,072	169	75

月別·地区別建築同意状況

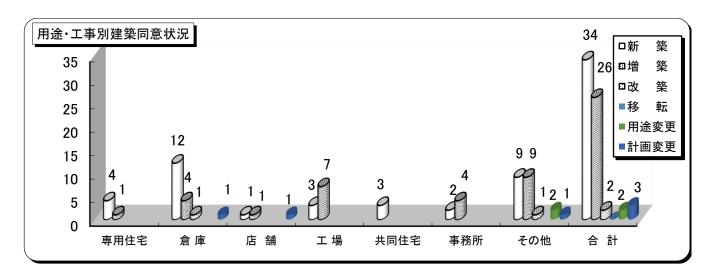
(令和2年度)

月別	地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合 計
4	月	1	2		2	3		8
5	月				5	1	2	8
6	月	3				2	3	8
7	月	4		1				5
8	月	2		1	2		1	6
9	月	4			2	1		7
10	月	1			2		2	5
11	月	1					2	3
12	月		1		2			3
1	月		1	1	1			3
2	月	1	1	1	2	1		6
3	月	1		1	1	2		5
合	計	18	5	5	19	10	10	67

用途·工事別建築同意状況

(令和2年度)

工事別	用途別	専用住宅	倉 庫	店舗	工場	共同住宅	事務所	その他	合 計
新	築	4	12	1	3	3	2	9	34
増	築	1	4	1	7		4	9	26
改	築		1					1	2
移	転								0
用途	変更							2	2
計画	変更		1	1				1	3
合	計	5	18	3	10	3	6	22	67



各種届出指示状況

(令和2年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任(解任)届	53	
消防計画作成(変更)届	89	
消防訓練計画届	156	
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	180	1 115
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	95	1, 115
防火対象物使用開始届	58	
消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	460	
発電・変電・蓄電池設備届	24	
指示書による指示件数		53
甲種防火管理新規講習課程修了証		44
乙種防火管理講習課程修了証		0
甲種防火管理再講習課程修了証		0

一般家庭・高齢者(独居)家庭の防火診断実施状況

(令和3年3月31日現在)

地区別区 分	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
一般家庭実施件数							0
累計	692	757	273	697	249	364	3, 032
高齢者(独居)家庭実施件数							0
累計	649	366	272	250	219	351	2, 107
総診断数	1, 341	1, 123	545	947	468	715	5, 139

中高層建築物等状況

(令和3年3月31日現在)

階	数	地	階	3 階	4	階	5	階	6	階	7	谐	8階	9階	10階	合計
棟	数		46	224		57		39		4		5	0	2	2	379

危険物施設状況

(令和3年3月31日現在)

_												一十 6日本 口		シロエノ
	製造所等	<u>、</u> :の[2	指定公分	数量	量別	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 10倍以下	100 倍を超え 15倍以下	150 倍を超え 20倍以下	200倍を超え 10倍以下	1000 倍を超える	計
	製		造		所	1	4	1	5			1		12
	屋	内	貯	蔵	所	20	9	13	4	5	2	2	3	58
	屋外	タ	ンク	貯	蔵 所	7	7	20	3	1		2		40
貯	屋内	タ	ンク	貯	蔵 所	1	1	1						3
蔵	地下	タ	ンク	貯	蔵 所	15	11	11	1					38
所	簡易	タ	ンク	貯	蔵 所									0
	移動	タ	ンク	貯	蔵 所	13		1	2					16
	屋	外	貯	蔵	所	2	3	4						9
	給	油	取	扱	所	10	3	14	3	3	3	7		43
取	第 1	種	販 売	取	扱所									0
扱	第 2	種	販 売	取	扱所									0
所	移	送	取	扱	所									0
	_	般	取	扱	所	28	14	12	1			1		56
			計			97	52	77	19	9	5	13	3	275

許可•完成検查•承認数状況

(令和2年度)

				許可	等の区		許	可			完成	検査		タン	/ク	廃止	及び
分	製造所等	の区	区分	_		設	置	変	更	設	置	変	更	検	查	転	出
	製		造	Ē	斤				4				5		1		
	屋	内	貯	蔵	所		1		1				1				
	屋 外	タ	ンク	貯	蔵 所		1		1				2		1		
貯	屋内	タ	ンク	貯	蔵 所												
蔵	地下	タ	ンク	貯	蔵 所				2				2				2
所	簡易	タ	ンク	貯	蔵 所												
	移動	タ	ンク	貯	蔵 所				1				1				1
	屋	外	貯	蔵	所								2				
	給	油	取	扱	所				10				11		1		
取	第 1	種	販 売	取	扱 所												
扱	第 2	種	販 売	取	扱 所												
所	移	送	取	扱	所												
	_	般	取	扱	所				15				12				2
			計				2		34		0		36		3		5

仮 使 用 承 認 数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合 計
29	3	32

危険物規制事務処理状況

(令和2年度)

申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	6
危険物製造所等軽微変更届	59
危険物製造所等譲渡引渡届	1
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	6
危険物製造所等廃止届	5
危険物製造所等休止届	0
危険物製造所等危険作業届	5
危険物製造所等定期点検結果報告	118
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任解任届	16
危険物取扱作業従事者届	107
危険物製造所等消防設備関係届	11
少量危険物貯蔵取扱い届	11
少量危険物廃止届	5
指定可燃物貯蔵取扱い届	2
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	10
炉・かまど・ボイラー等設置届	16
改善計画書	11
その他	24
合 計	413

危険物施設立入検査状況

(令和2年度)

												1 /2 < /
			ļ	貯	取							
製 造 所	屋貯成内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	小計	合計
13	3	4	0	6	0	15	2	30	26	12	38	81

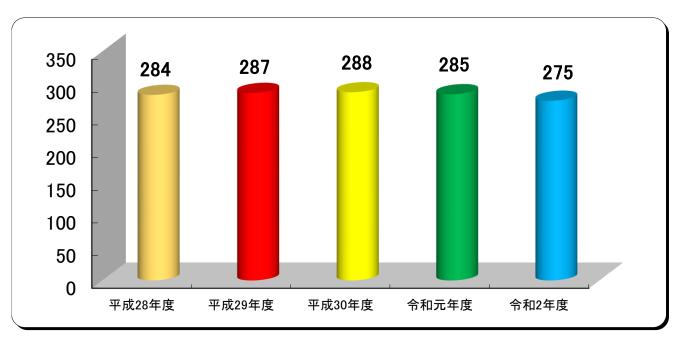
少量危険物施設立入検査状況

(令和2年度)

少量危険物施設 (少量危険物移動タンク含む)

21

過去5年間の危険物施設数(完成検査済)状況



年度別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	284	287	288	285	275

手数料収入額状況

(令和2年度)

(単位:千円)

許可	手数料	完成検査	タンク検査 手 数 料		仮使用	仮貯蔵 仮取扱	合 🏗	L
設 置	変更	手 数 料	水張	圧 力	手数料	手数料		
86	874	442	12	11	157	16	1,	598

県委譲事務処理状況

(令和2年度)

液化石油	ガス関係	高圧ガ	ス関係	火薬类	質関係
設備工事届	立入検査	立入検査	立入検査	行政措置	
0	0	0	0	0	0

防火防災組織の状況

(令和3年4月1日現在)

	団 体 名	人員	結成年月日	活動状況
	小野市幼年婦人防火委員会 (会長 藤原 靖)	6	昭和60年4月1日	・防火防災組織の育成指導
婦人防火クラブ	小野市婦人防火クラブ		昭和60年4月1日	・防火街頭宣伝活動・家庭防火診断の推進・その他の防火広報活動
	北辰保育園幼年消防クラブ	123	昭和60年7月1日	
幼	来住保育所幼年消防クラブ	141	昭和60年12月1日	・避難訓練の実施
年消防	小野保育所幼年消防クラブ	222	昭和61年2月1日	・防火教室の開催 ・防火絵画展開催
クラ	下東条西保育所幼年消防クラブ	109	昭和62年11月1日	・消防大会への参加
ブ	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	113	昭和63年7月1日	
	栗生こども園幼年消防クラブ	122	平成10年2月28日	
女	育ヶ丘女性消防隊	13	昭和54年4月1日	・消防機器の点検・訓練 ・防火広報活動の実施
性消防	高山町女性消防隊	5	昭和60年4月1日	・初期消火活動 ・防火・救急教室の開催
隊	小野ニュータウン女性消防隊	15	平成4年9月1日	・自衛消防競技会への参加・消防大会への参加
そ	小野市防火協会	240	昭和48年4月1日	・防火広報誌の発行・各種防火広報活動・各種防火研修会の開催
の他	小野匠工業会防災連絡委員会	35	平成6年4月1日	・消火、防火訓練の実施・防火、救急講習会の実施・防火広報活動の実施・自衛消防競技会への参加

消防



令和2年 火災概要



1 火災件数と火災種別

令和2年中の火災件数は24件で、前年より2件上回っています。

火災種別ごとにみると、最も多く発生しているのが、建物火災の10件(42%)、次にその他火災が8件(33%)、次いで車両火災4件(17%)、林野火災2件(8%)となっています。

2 建物火災焼損程度

建物火災を焼損程度別に見ると、焼損した火元及び類焼建物の合計が13棟で、うち全焼が4棟(31%)、部分焼が3棟(23%)、ぼやが6棟(46%)となっています。 ※車両火災により焼損した4棟を除く。

3 出火原因

出火原因は多いものから、「火入れ(焼却行為)」による火災が7件(29%)、次いで「たき火」によるものが3件(13%)、「電気機器」、「電灯・電話等の配線」、「配線器具」、「灯火」、「放火の疑い」による火災が各1件(4%)発生しています。なお、「その他」、「不明」が各4件(17%)となっています。

4 火災による死傷者

令和2年中の火災による死傷者数は、負傷者が2名発生しましたが、死者は発生していません。(前年死者3名、負傷者5名)

5 焼損面積

焼損面積を種別ごとにみると、建物焼損床面積が319㎡(前年1,691㎡)、建物焼損表面積は26㎡(同64㎡)となっています。

林野の焼損面積は、28a(同6a)となっています。

6 火災損害状況

令和2年中の火災総損害額は10,964千円で、前年(147,493千円)に比べ136,529千円減少しています。

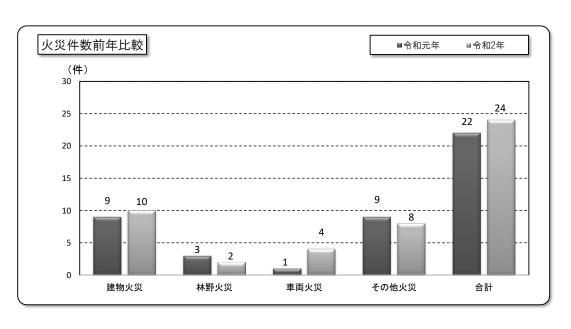
火災種別で見ると、建物火災が8,965千円(前年146,722千円)、車両火災が1,852千円(同759千円)、その他火災が147千円(同12千円)となっています。

7 地区别火災発生状況

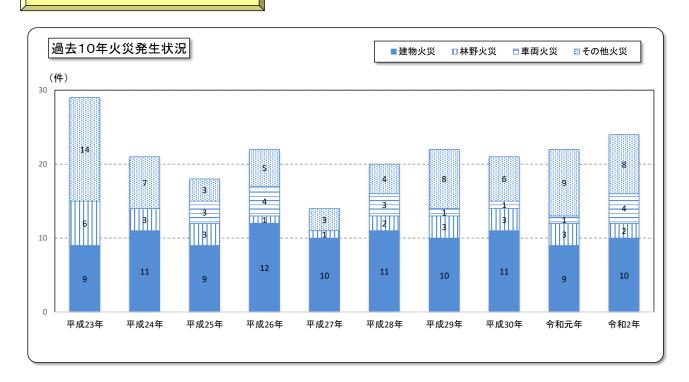
火災件数を地区別でみると、市場地区が最多の6件、次いで来住地区が5件、小野地区及び下東条地区で各4件、大部地区で3件、河合地区で2件発生しています。

火災状況前年比較

		年 別		令和	12年			令和	元年			前年	比較	
区分			本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
	合	、計	5	11	8	24	6	7	9	22	-1	4	-1	2
火災	建	物火災	1	5	4	10	3	4	2	9	-2	1	2	1
件数	林	野火災	0	2	0	2	1	0	2	3	-1	2	-2	-1
	車	両火災	2	1	1	4	0	1	0	1	2	0	1	3
(件)	その	他火災	2	3	3	8	2	2	5	9	0	1	-2	-1
	台	計	4,504	4,503	1,957	10,964	104,190	9,940	33,363	147,493	-99,686	-5,437	-31,406	-136,529
損害	建	物火災	3,943	3,502	1,520	8,965	104,180	9,181	33,361	146,722	-100,237	-5,679	-31,841	-137,757
額	林	野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車	両火災	561	976	315	1,852	0	759	0	759	561	217	315	1,093
(千円)	その	他火災	0	25	122	147	10	0	2	12	-10	25	120	135
144	建	焼損合計(m²)	150	154	41	345	986	431	338	1,755	-836	-277	-297	-1,410
焼損	物	焼損床面積(㎡)	150	130	39	319	933	430	328	1,691	-783	-300	-289	-1,372
面積	123	焼損表面積(㎡)	0	24	2	26	53	1	10	64	-53	23	-8	-38
	林	野 (a)	0	28	0	28	2	3	1	6	-2	25	-1	22
焼	損棟数	女(棟)	2	10	5	17	11	9	2	22	-9	1	3	-5
り災・	世帯数	(世帯)	2	5	3	10	7	2	3	12	-5	3	0	-2
9	災人員	(人)	2	14	12	28	12	4	8	24	-10	10	4	4
焼扎	員車両	数(台)	3	1	1	5	2	1	1	4	1	0	0	1
負	負傷者	(人)	0	1	1	2	2	1	2	5	-2	0	-1	-3
3	死 者	(人)	0	0	0	0	1	1	1	3	-1	-1	-1	-3
出	合	計(人)	98	139	82	319	295	151	160	606	-197	-12	-78	-287
動人	消防	職員(人)	70	126	80	276	132	92	82	306	-62	34	-2	-30
員	消防	団員(人)	28	13	2	43	163	59	78	300	-135	-46	-76	-257



火災発生状況10年比較



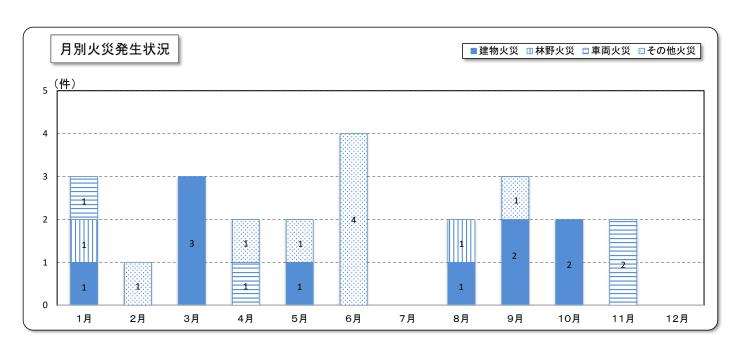
火災種別出火件数の推移

(件)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成23年	9	6	0	14	29
平成24年	11	3	0	7	21
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22
平成27年	10	1	0	3	14
平成28年	11	2	3	4	20
平成29年	10	3	1	8	22
平成30年	11	3	1	6	21
令和元年	9	3	1	9	22
令和2年	10	2	4	8	24

月別火災発生状況

区 分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数 (件)		合 計	3	1	3	2	2	4	0	2	3	2	2	0	24
	建物火災		1	0	3	0	1	0	0	1	2	2	0	0	10
	林野火災		1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	車両火災		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4
		その他火災	0	1	0	1	1	4	0	0	1	0	0	0	8
損害額		合 計	325	0	1,249	262	306	126	0	18	3,951	3,452	1,275	0	10,964
		建物火災	10	0	1,249	0	285	0	0	18	3,951	3,452	0	0	8,965
		林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		車両火災	315	0	0	262	0	0	0	0	0	0	1,275	0	1,852
(千円)		その他火災	0	0	0	0	21	126	0	0	0	0	0	0	147
体	建	焼損合計(㎡)	5	0	2	0	34	0	0	8	150	135	11	0	345
焼損	物	焼損床面積(㎡)	5	0	0	0	34	0	0	8	150	122	0	0	319
面積	490	焼損表面積(㎡)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	13	11	0	26
	林 野 (a)		1	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	28
焼損棟数(棟)		2	0	3	0	1	0	0	1	3	4	3	0	17	
り災世帯数(世帯)		2	0	2	0	0	0	0	0	3	1	2	0	10	
り災人員(人)		9	0	7	0	0	0	0	0	5	2	5	0	28	
焼損車両数(台)		1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	5	
負傷者(人)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
死 者(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出動人	合 計(人)		27	8	39	42	25	27	0	34	50	38	29	0	319
	消防職員(人)		25	8	39	32	25	27	0	30	33	29	28	0	276
員	γì	肖防団員(人)	2	0	0	10	0	0	0	4	17	9	1	0	43



時間別火災発生状況

(件)

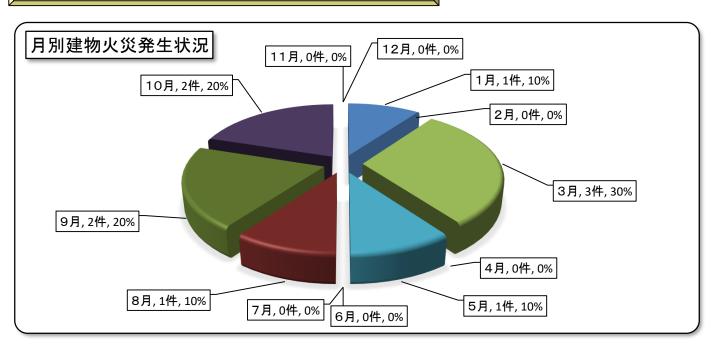
																	(14)
月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10日	11月	19日		火災	種別		合計
時間別	1/7	4万	57	4万	3/7	0/3	ζ_	57	9/7	10/7	11/7	14万	建物	林野	車両	その他	
0時~1時	1													1			1
1時~2時																	0
2時~3時																	0
3時~4時																	0
4時~5時									1		1		1		1		2
5時~6時																	0
6時~7時																	0
7時~8時					1								1				1
8時~9時																	0
9時~10時						1										1	1
10時~11時								1		1			1	1			2
11時~12時			1		1	1		1					2			2	4
12時~13時		1				1										2	2
13時~14時			1			1							1			1	2
14時~15時										1	1		1		1		2
15時~16時									1							1	1
16時~17時																	0
17時~18時			1										1				1
18時~19時	1												1				1
19時~20時	1														1		1
20時~21時																	0
21時~22時				1					1				1		1		2
22時~23時																	0
23時~24時				1												1	1
不明																	0
合 計	3	1	3	2	2	4	0	2	3	2	2	0	10	2	4	8	24

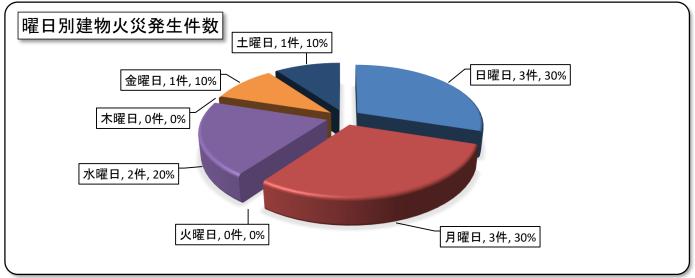
曜日別火災発生状況

(件)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
曜日別	1/7	4月	3万	4万	0万	0万	7万	0万	977	10万	11万	14月	建物	林野	車両	その他	
日曜日	1	1		1		2		1	1				3			4	7
月曜日	1		2	1	1	2					1		3	1	2	2	8
火曜日									1							1	1
水曜日								1	1	1	1		2	1	1		4
木曜日																	0
金曜日	1		1										1		1		2
土曜日					1					1			1			1	2
不明																	0
合計	3	1	3	2	2	4	0	2	3	2	2	0	10	2	4	8	24

月別 • 曜日別建物火災発生状況





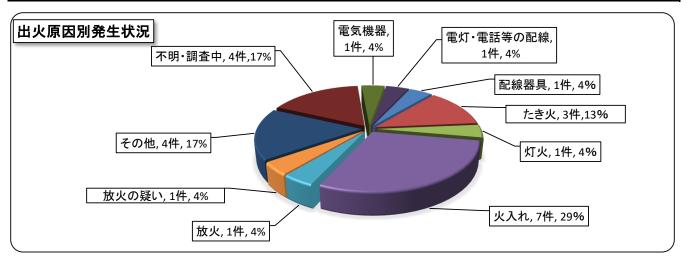
建物用途別火災発生状況

※建物火災のみ

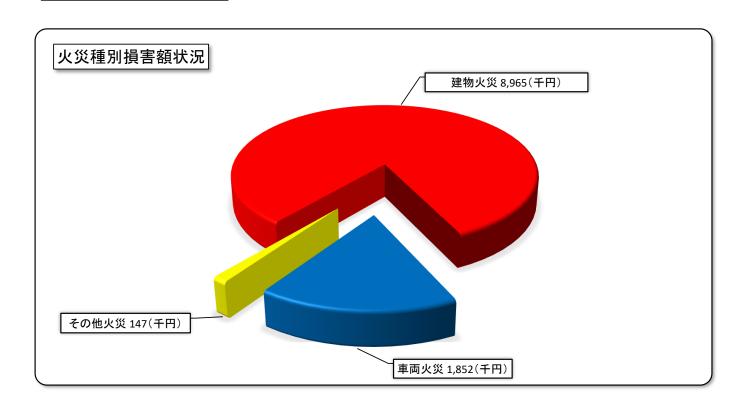
用j	途別	一般住宅	倉庫兼住宅	倉庫	納屋	工場·作業場	合 計
発生件	-数(件)	5	1	1	1	2	10
火災損害	額(千円)	1,259	3,943	285	3,448	30	8,965
焼損面積	床面積(㎡)	8	150	34	122	0	314
が1月1111月	表面積(m²)	2	0	0	13	0	15

出火原因別発生状況

区分			火災	く件数	数(化	生)					焼損面積		負	死
原因	合 書	建	物	林	野	車「	両	その他	損害額 (千円)	建 物 床面積 (m²)	建 物 表面積 (m²)	林 野 (a)	傷 者 (人)	者(人)
たばこ														
こんろ														
かまど														
風呂かまど														
炉														
焼却炉														
ストーブ														
こたつ														
ボイラー														
煙突•煙道														
排気管														
電気機器		1	1						4				1	
電気装置														
電灯・電話等の配線		1	1											
交通機関内配線														
内燃機関														
配線器具		1	1						26					
火あそび														
マッチ・ライター														
たき火		3	1		1			1	1,223		2	1		
溶接機•切断機														
灯火		1	1						10				1	
衝突の火花														
取灰														
火入れ		7	1		1			5	161	8		27		
放火		1					1		262					
放火の疑い		1					1		976		11			
その他		4	2				2		4,070	127	13			
不明·調査中		4	2					2	4,232	184				
合 計	2	4	10		2		4	8	10,964	319	26	28	2	



損害発生状況



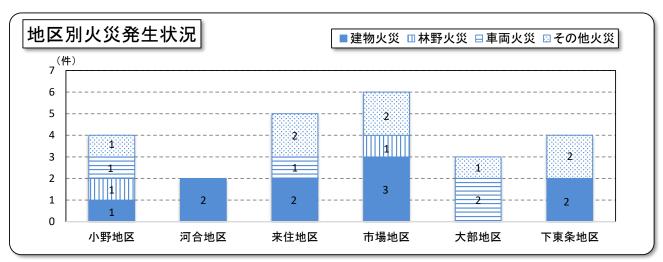
火災種別損害額の推移

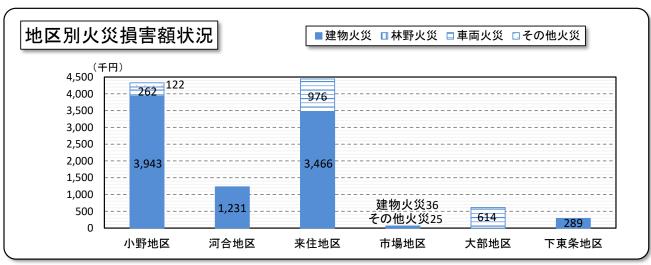
(千円)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成23年	126,951	29	0	2,507	129,487
平成24年	102,296	0	0	1	102,297
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228
平成27年	55,385	0	0	0	55,385
平成28年	15,251	0	810	14	16,075
平成29年	67,087	0	348	66	67,501
平成30年	150,308	0	138	2	150,448
令和元年	146,722	0	759	12	147,493
令和2年	8,965	0	1,852	147	10,964

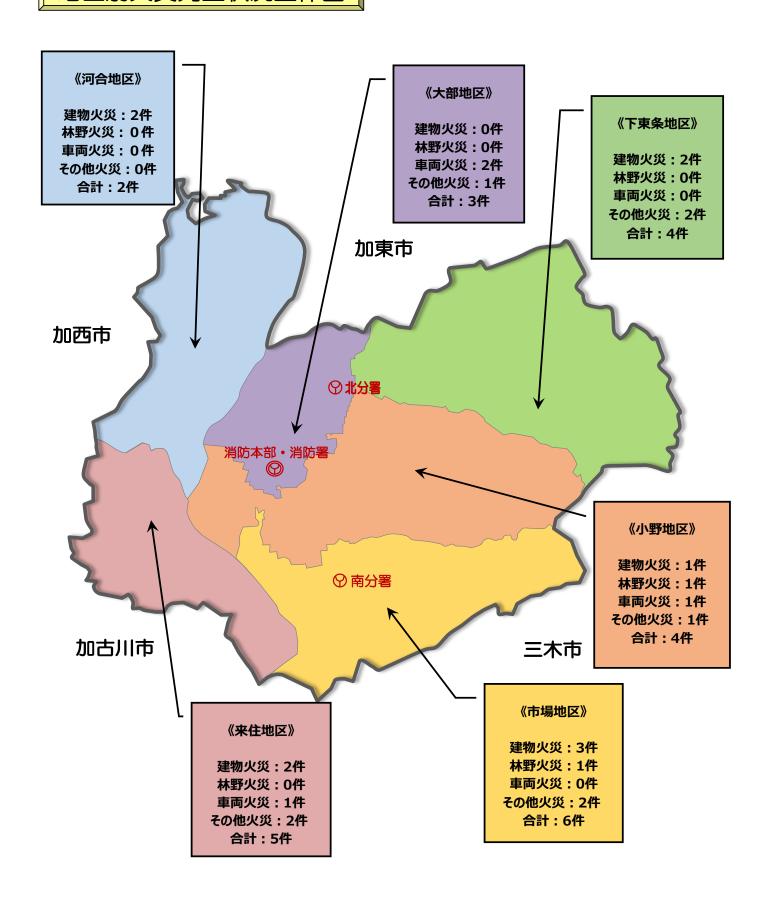
地区別火災発生状況

地区別種 別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合 計
建物火災(件)	1	2	2	3	0	2	10
損害額(千円)	3,943	1,231	3,466	36	0	289	8,965
林野火災(件)	1	0	0	1	0	0	2
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
車両火災(件)	1	0	1	0	2	0	4
損害額(千円)	262	0	976	0	614	0	1,852
その他火災(件)	1	0	2	2	1	2	8
損害額(千円)	122	0	0	25	0	0	147
火災件数合計(件)	4	2	5	6	3	4	24
損害額合計(千円)	4,327	1,231	4,442	61	614	289	10,964





地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

基準水利

(令和3年3月31日現在)

防火水槽	消火栓	合計
503	1,341	1,844

過去10年間の降雨量

(単位:mm)

月別 年別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計	年間平均
平成23年	3.5	67.5	24.5	89.0	309.0	99.0	110.0	55.5	500.5	183.0	86.5	11.0	1,539.0	128.3
平成24年	27.0	80.5	141.5	118.0	37.5	229.5	216.0	53.0	145.0	77.0	91.5	94.5	1,311.0	109.3
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7
平成27年	97.5	22.0	123.5	107.5	85.0	156.0	335.5	193.5	172.0	46.5	139.0	123.5	1,601.5	133.5
平成28年	46.5	72.0	71.5	160.5	108.5	257.5	102.5	86.0	357.0	53.5	68.5	88.0	1,472.0	122.7
平成29年	27.0	37.5	38.0	125.0	57.5	146.0	75.0	75.0	142.5	399.0	32.0	28.0	1,182.5	98.5
平成30年	39.0	32.0	180.5	92.5	169.5	168.0	366.5	125.5	332.0	54.0	9.5	68.5	1,637.5	136.5
令和元年	18.5	43.5	79.0	116.0	71.0	129.0	104.0	161.5	49.5	159.5	11.5	45.5	988.5	82.4
令和2年	46.0	48.5	85.0	148.0	65.0	208.0	301.5	0.0	123.5	90.5	35.5	14.0	1,165.5	97.1

は各年の最小降雨月を示す。

は各年の最高降雨月を示す。

年間降雨量比較 1637.5 1601.5 1539.0 1600.0 1472.0 1387.0 1400.0 1311.0 1172.8 1182.5 1165.5 1200.0 988.5 1000.0 800.0 600.0 400.0 200.0 0.0 令和2年 平成23年 平成24年 平成25年 平成27年 平成29年 令和元年 平成26年 平成28年 平成30年 単位:mm

消防機械器具保有状況

(令和3年3月31日現在) No. 1

_							No. 1
	区分	令和3年				令和2年	前年比
	品目		本 署	南分署	北分署		133 1 =
	65mmホース	165	89	47	29	144	21
	50mmホース	173	113	40	20	176	-3
	40mmホース	97	66	24	7	100	-3
	ホースカー	5	3	1	1	5	0
	ホース背負い器	13	5	4	4	13	0
	ホースバック	26	17	6	3	24	2
	普通筒先	4	3	0	1	4	0
	無反動筒先65mm	6	2	1	3	6	0
	無反動筒先50㎜	16	9	5	2	16	0
	プロジェクトガン40mm	11	6	3	2	9	2
	クアドラフォグノズル	17	11	4	2	14	3
	槍管そう	2	1	1	0	2	0
	ロータリーノズル	0	0	0	0	0	0
	ストレートノズル	7	3	3	1	7	0
	放水砲	1	0	1	0	1	0
	放水銃	2	1	1	0	2	0
	分岐管(65→65)	4	4	0	0	5	-1
+4	" (65→40)	2	1	1	0	2	0
放水	" (50→50)	10	4	3	3	10	0
器	<i>n</i> (65→50)	3	2	1	0	2	1
具	』 (65・50マルチ)	7	3	2	2	6	1
	集水器(65→65)	5	2	2	1	5	0
	スタンドパイプ	6	3	2	1	6	0
	ストップバルブ(65)	9	6	2	1	9	0
	ストップバルブ(50)	7	5	2	0	7	0
	媒介(雄×雄)65-65	13	7	3	3		-1
	〃 (雄×雄)50-50	3	2	0	1	3	0
	〃(雌×雌)65-65	14	8	3	3	15	-1
	〃(雌×雌)50-50	5	2	0	3	5	0
	〃 (雌×雄)65-50	24	12	10	2	25	-1
	〃(雌×雄)65-40	16	6	9	1	16	0
	〃(雌×雄)50−40	16	7	8	1	14	2
	〃 (雌×雄)50-65	12	6	4	2	12	0
	吸管結合中継金具	7	1	4	2	7	0
	ロープ式吸管結合金具	5	2	2	1	5	0
	消火栓キー	5	2	3	0	4	1
	防火水槽キー	7	3	3	1	7	0
	消火栓ハンドル	5	1	2	2	5	0
	丸型消火栓ハンドル	10	4	4	2	11	-1

No. 2

	区分	令和3年				令和2年	前年比
Ţ			本 署	南分署	北分署		
	吸管スパナ	19	11	6	2	19	0
	ちりよけ籠	9	4	3	2	9	0
	ディスクストレーナー	2	1	0	1	2	0
	ストレーナー	16	7	7	2	15	1
	まくら木	15	7	5	3	15	0
	ラインプロポーショナー	8	4	2	2	9	-1
	低発泡ノズル	7	4	2	1	8	-1
	簡易発泡ノズル	1	0	1	0	1	0
	中発泡器一式	2	2	0	0	2	0
	高発泡器一式	3	2	1	0	3	0
放	排煙型高発泡装置	1	0	1	0	1	0
	エアフォーム(L)	160	80	40	40	2,140	-1980
	アルコフォーム(L)	80	0	40	40	80	0
具	A火災用泡原液(L)	200	200	0	0	220	-20
	B火災用泡原液(L)	320	320	0	0	320	0
	ターボポンプ	1	0	0	1	1	0
	可搬式動力ポンプ(B-3級)	0	0	0	0	2	-2
	可搬式動力ポンプ(B-2級)	1	1	0	0	1	0
	可搬式動力ポンプ(C-1級)	2	0	1	1	3	-1
	高圧ポンプ	0	0	0	0	0	0
	背負い式消火水のう	33	16	12	5	33	0
	ウォーターチャージャー	3	1	2	0	3	0
	ホースブリッジ	29	20	7	2	27	2
	ホース応急バンド	26	16	7	3	29	-3
	投光器(三脚付)	9	5	3	1	8	1
	水中ライト	17	12	5	0	19	
	信号器付灯光器用発電機	1	1	0	0	1	0
3177	信号器付投光器三脚	2	2	0	0	2	0
	信号器付投光器	2	2	0	0	2	0
器具	合図灯	39	24	9	6	39	0
	発電機	7	4	2	1	7	0
	LEDライト	20	13	3	4	18	2
	日光ライトコードリール	11	1.0	7	2	11	3
		22	13		2	19	
	とび口 バール	25	19	4	2	24	1
		20	12	6	2	16	4 0
	斧 剣生フランプ	4	2	1	1	4	
作業	剣先スコップ	6	4	1	1	9	-3 0
	かけや 鉄ハンマー	4	2	1	1	4	
具	万能斧	5	3 17	1 6	1	5	7
	ガルトクリッパー	26			3	19	
	パイプレンチ	12	6	$\frac{4}{0}$	2	10	2 0
	防火用具一式	2	2 1	1	0	2 3	
Ш	<u> </u>	3	1	1	1	3	<u> </u>

No. 3

	区分						
	品目	令和3年	本 署	南分署	北分署	令和2年	前年比
	鋸	С				2	4
	ナタ	6 2	6	0	0	3	4
	カマ		2	0	0	3	-1
	電気ドリル	4	4	0	0	ე 1	0
	アーク溶接機	2	1	1	0	1	1
	ガス溶断器		0	1	0	2	<u> </u>
14	18- 1 18	1	0	1	0	0	
作業		2	1	1	0	2	0
未	ガレージジャッキ	3	1	1	1	3	0
具	充電機	4	<u>1</u>	2	1	4	0
	コンプレッサー	2	0	1	1	2	0
	チェーンブロック	1	1	0	0	1	0
	整備工具	4	2	1	1	$\frac{1}{4}$	0
	万力	2	1	1	0	1	1
	脚立	11	5	4	2	11	0
	緊急用防災器具	1	1	0	0	11	0
	鉤付はしご	5	3	1	1	5	0
	二連梯子	0	0	0	0	0	0
	三連梯子	6	3	2	1	6	0
	ワイヤー梯子	1	1	0	0	1	0
	空気式救助マット	1	1	0	0	1	0
	シットハーネス	13	13	0	0	13	0
	エバックハーネス	10	10	0	0	10	0
	サバイバースリング	2	2	0	0	2	0
	バスケット担架	4	3	1	0	4	0
	吊り下げベルト	3	2	1	0	2	1
	縛帯	2	1	1	0	1	1
_	簡易縛帯	3	2	1	0	3	0
般	亚	3	2	1	0	3	0
救	スケッドストレッチャー	1	1	0	0	2	-1
助器	s	2	2	0	0	2	0
科具		1	1	0	0	1	0
	エ小環	5	3	2	0	5	0
	マンホール救助器具	0	0	0	0	0	0
	ベルトスリング	17	16	1	0	16	1
	ステップチョーク	2	2	0	0	2	0
	ウェッジ	8	8	0	0	8	0
	ロックブロック	6	6	0	0	6	0
	ジャッキ敷板	13	13	0	0	13	0
	アリゾナボーテックス	1	1	0	0	1	0
	電動コンビツール	1	1	0	0	1	0
	油圧ホース 5m	4	4	0	0	4	0
	張力計	3	3	0	0	3	0

No. 4

_					-		
	区分	令和3年				令和2年	前年比
	品目	· · · ·	本 署	南分署	北分署		
	チルホール一式	5	4	1	0	4	1
	ポートパワー	1	1	0	0	1	0
重	プランジャーラム	1	1	0	0	1	0
量	スプレッダー	2	2	0	0	2	0
彻	ハンドポンプ リフトバック	1	1	0	0	1	0
排除	リフトバック	5	5	0	0	5	0
器	ゴージャック	4	4	0	0	4	0
具	ラムサポート	0	0	0	0	0	0
	エンジン式油圧ポンプ	2	2	0	0	2	0
	ホースリール	1	1	0	0	1	0
	エンジンカッター	5	3	2	0	4	1
	チェンソー	8	4	4	0	8	0
	アークエアー	1	1	0	0	1	0
	油圧カッター	2	2	0	0	2	0
切账	油圧ミニカッター	1	1	0	0	1	0
断器	ペダルカッター	0	0	0	0	0	0
具	充電式電動レシプロソー	1	1	0	0	1	0
	フットポンプ	0	0	0	0	0	0
	空気鋸	1	1	0	0	1	0
	電動ソー	1	1	0	0	1	0
	救助はさみ	5	3	0	2	5	0
	削岩機	2	2	0	0	2	0
破	ストライカー	2	2	0	0	2	0
壊	ハンマードリル	1	1	0	0	0	1
器	電動ハンマードリル	2	2	0	0	2	0
具	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	0	0	0	0	0	0
	ウインドポンチ	5	2	2	1	6	-1
	火災原因調査用品	5	3	2	0	5	0
	熱画像直視装置	4	2	1	1	4	0
測	非接触温度計	3	2	1	0	1	2
定	可燃性ガス測定器	2	1	1	0	2	0
器目		2	2	0	0	2	0
具	放射能測定器	1	1	0	0	1	0
	放射線量計	5	5	0	0	5	0
	検電器	2	2	0	0	2	0
	空気呼吸器	30	18	4	8	30	0
	酸素呼吸器	10	9	1	0	10	0
保	酸素呼吸器用ボンベ	21	16	5	0	21	0
安品		2	2	0	0	2	0
器目	·	2	2	0	0	2	0
具	C DEVIN	2	1	1	0	1	1
	耐電服	4	4	0	0	3	1
	耐電ブーツ	5	5	0	0	3	2

No. 5

							No. 5
	区分 品目	令和3年				令和2年	前年比
			本 署	南分署	北分署		
	耐電手袋	16	13	2	1	17	-1
	夜光チョッキ(LED)	38	20	11	7	40	-2
	エアバックカバー	4	2	1	1	4	0
保	安全帯	30	22	5	3	28	2
安	携帯警報器	18	10	4	4	18	0
器	耐熱服	11	11	0	0	9	2
具	防毒服	5	0	5	0	0	5
	化学防護服	12	8	4	0	8	4
	放射線防護服	2	2	0	0	2	0
	防毒マスク	17	11	3	3	23	-6
	救命用ボート	3	2	1	0	3	0
	船外機	3	2	1	0	3	0
	救命浮輪	5	3	2	0	6	-1
	スローバック	5	4	0	1	6	-1
	救命胴衣	114	79	33	2	114	0
水	救命索発射銃	2	1	1	0	2	0
難	レスキューMAX	1	1	0	0	1	0
器	ファイバースコープ	1	1	0	0	1	0
具	ウエットスーツ・3点セット	17	17	0	0	17	0
	ドライスーツ	7	7	0	0	7	0
	BCジャケット・レギュレター	10	10	0	0	10	0
	ジャックナイフ	8	8	0	0	8	0
	メタリコンタンク	12	12	0	0	12	0
	魚群探知器	1	1	0	0	1	0
	山岳救助資機材一式	1	1	0	0	1	0
	誘導避難確認セット	16	1	15	0	1	15
	B対応セット	18	18	0	0	18	0
	応急処置用セット	1	1	0	0	1	0
	緩降機	1	1	0	0	1	0
	ロールグリス	1	1	0	0	1	0
	エスケープテックシステム	5	5	0	0	5	0
そ	火花遮断シート	1	1	0	0	2	-1
\mathcal{O}	防水シート	6	4	0	2	5	1
他	ロープ登降機	0	0	0	0	0	0
の 四	ホース洗浄器	2	1	1	0	2	0
新 具	矢印表示板	7	4	2	1	7	0
7	折り畳み式コーン	16	10	6	0	10	6
	携帯拡声器	15	10	2	3	15	0
	ブースターケーブル	8	6	1	1	6	2
	布水槽	1	0	1	0	1	0
	オイルフェンス	5	3	2	0	5	0
	油吸着マット(枚)	139	78	45	16	351	-212
	訓練用マット	7	6	1	0	7	0
	訓練用ネット	1	1	0	0	1	0

消防車両一覧表

(令和3年3月31日現在)

	種別	車名	型 式	年式	排気量 (Q)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日
	化学車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H29	6.40	220	11,370	A-2級	おのしょう1	平成29年3月
	タンク車 (水 I -A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A-2級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう2	平成20年2月
	ポンプ 積載車	日産	PKG-SZ5F24	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B-2級積載	おのしょう3	平成23年9月
消防	先端屈折式 はしご付消防自動車	日野	QDG-PR1APEF	H28	8.86	380	20,000		おのしょう4	平成28年4月
本部	救助工作車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,290		おのしょう5	平成27年2月
	資機材搬送車	いすぶ	PB-NPS81AR	H16	4.77	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
消防	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年5月
署)	軽四資機材 搬送車	二菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年7月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H29	2.69	151	3,195		おのしょう90	平成29年3月
	高規格救急車	トヨタ	3BF-TRH226S	R3	2.69	151	3,215		おのしょう91	令和3年1月
	広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		ı	平成10年7月
	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
南分	タンク車 (水 II 型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A-1級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう30	平成17年1月
署	水槽車	日野	QDG-FR1APEA	H28	8.86	380	21,905	A-2級	おのしょう31	平成28年9月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう93	平成24年3月
北分署	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう92	平成22年2月

消防署出動状況

令和2年

出動種別	火災	救 急 業 務	救 助 業 務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他	うち火災の誤報・誤認いたずら等	合計
出動回数	24	2,136	26	1	5	640	439	15	2	340	3	3,631
前年回数	22	2,310	35	2	4	431	220	8	1	336	0	3,369
出動延人員	276	6,462	240	2	76	1,648	1,166	37	6	1005	25	10,943
前年延人員	306		391	5		1,084	587	18	8	955	0	10,351

※火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届け出状況

令和2年

① 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する恐れのある行為

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	53	19	7	6	14	11	12	13	5		20	22	

② 煙火(がん具用煙火を除く)の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障をおよぼす恐れのある道路工事

	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
I	届出件数	10	4	0	3	6	7	5	4	5	8	7	11	70

(6) 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者の集合する催しに際して露店等を開設する場合

I	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	届出件数	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

救急

令和2年救急概要

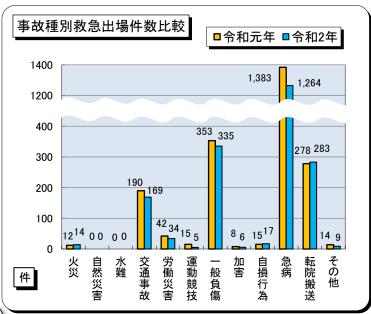
令和2年中の救急出場件数は2,136件、搬送人員は1,996人で、前年と比較すると、出場件数では174件減少、搬送人員では181人減少しており、市民の約24人に1人が救急車を利用したことになります。

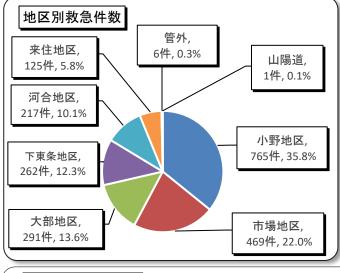
また、一日の平均出場件数は約5.9件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約7.0分となっています。

救急出場件数

令和2年中、2,136件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,264件と半数以上を占め、全体の約59%となります。次いで、一般負傷の335件(約16%)、転院搬送の283件(約13%)、交通事故の169件(約8%)となっています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり全体的に救急出場件数は減少していますが、前年より増加しているのは、転院搬送が5件、火災及び自損行為が各2件となっています。

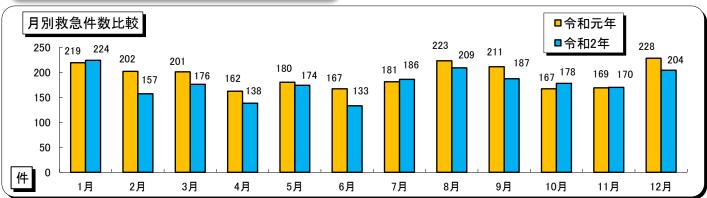




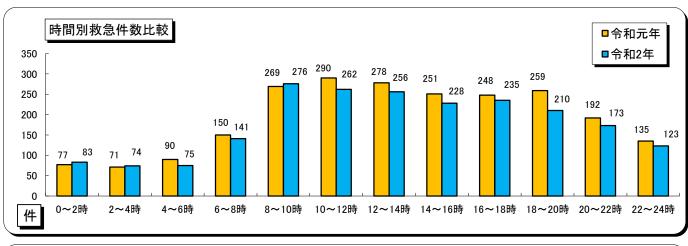
地区別救急概要

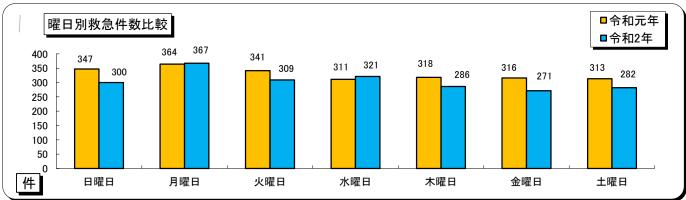
救急出場件数を地区別にみると、小野地区が765件で全体の約36%を占め、次いで市場地区が469件(22%)、大部地区が291件(約14%)、下東条地区が262件(約12%)、河合地区が217件(約10%)、来住地区が125件(約6%)、その他(山陽道・管外)が7件(約1%)となっています。

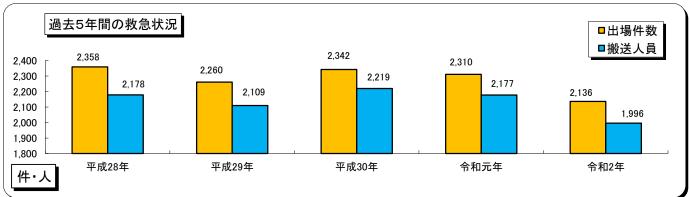
また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、 1月の224件が最多で、最少は6月の133件と なっており、1 ヶ月平均では約178件となっています。



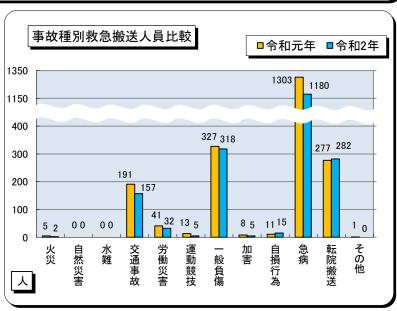
救急概要・搬送人員状況







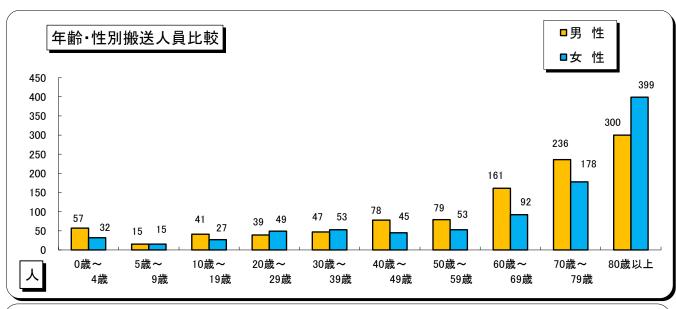
時間帯別でみると、8時~10時が出場のピークとなっており、曜日別では月曜日が最も多く出場しています。性別をみると男性が1,053人で、女性が943人となっています。年齢別にみると、65歳以上の方が1,312人で全体の約66%を占めています。

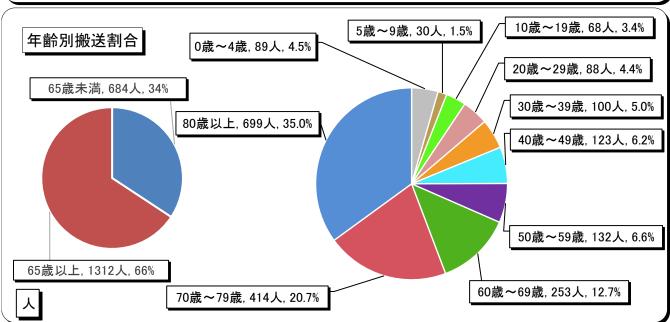


年齡•性別搬送人員比較

(単位:人)

性別		令和2年			令和元年			前年比較	
年齢別	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
0歳~4歳	57	32	89	81	50	131	-24	-18	-42
5歳~9歳	15	15	30	26	28	54	-11	-13	-24
10歳~19歳	41	27	68	53	40	93	-12	-13	-25
20歳~29歳	39	49	88	41	61	102	-2	-12	-14
30歳~39歳	47	53	100	64	50	114	-17	3	-14
40歳~49歳	78	45	123	81	62	143	-3	-17	-20
50歳~59歳	79	53	132	83	67	150	-4	-14	-18
60歳~69歳	161	92	253	121	107	228	40	-15	25
70歳~79歳	236	178	414	249	229	478	-13	-51	-64
80歳以上	300	399	699	302	382	684	-2	17	15
合 計	1, 053	943	1, 996	1, 101	1,076	2, 177	-48	-133	-181

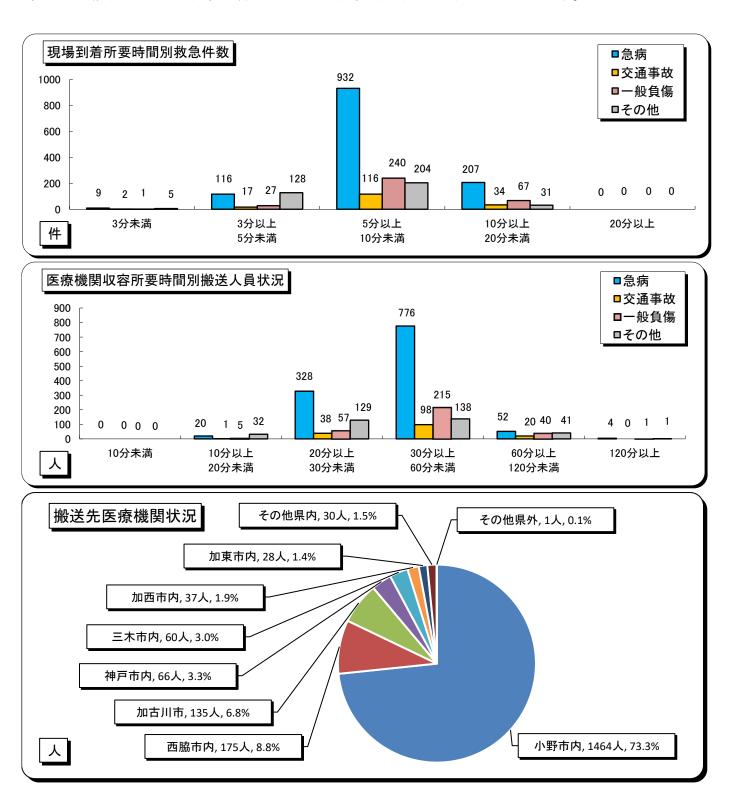




救急所要時間状況

救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7.0分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約36.5分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,464人で全体の約73%を占め、次いで西脇市への175人、加古川市へ135人、神戸市へ66人となっています。



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(.	単位:	:人)

<u>/</u>												(-	<u> 早似: 八)</u>
			Σ	汝	急	事	故	種	別				
事故種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自損	急	そ <i>0</i> 転)他 そ	合
搬送地別	災		難	事故	働災害	動競 技	 似負傷	害	1月行為	病	院搬送	での他	計
小 野 市 内	0	0	0	100	22	1	197	1	11	984	148	0	1,464
三 木 市	0	0	0	8	0	0	11	0	1	21	19	0	60
加東市	0	0	0	2	0	0	7	0	0	10	9	0	28
西 脇 市	0	0	0	17	4	1	55	1	1	77	19	0	175
加 西 市	0	0	0	1	1	1	4	0	0	22	8	0	37
加古川市	1	0	0	18	3	2	30	3	1	44	33	0	135
神戸市	1	0	0	7	2	0	8	0	0	15	33	0	66
その他県内	0	0	0	4	0	0	6	0	1	7	12	0	30
県 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	2	0	0	157	32	5	318	5	15	1,180	282	0	1,996

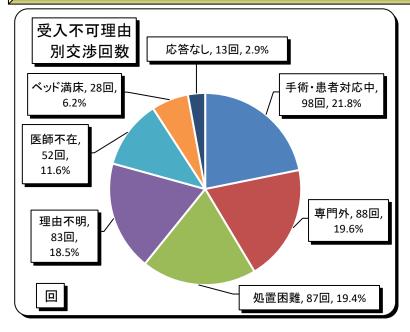
急病件数に対する過去5年間の比較

事故種別の中で 最も多いのは急病 です。

昨年と比較して 件数は119件、 搬送人員は123 人減少しています。

区分 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
急病件数(件)	1,321	1,283	1,372	1,383	1,264
全件に対する構成比	56.0%	56.8%	58.6%	59.9%	59.2%
搬送人員(人)	1,226	1,192	1,291	1,303	1,180
全搬送人員に対する構成比	56.3%	56.5%	58.2%	59.9%	59.1%

医療機関平均交渉回数 • 平均交渉時間 • 受入不可理由



1件の救急事案で医療機関に 受入交渉した回数は1.2件で、 平均交渉時間は約4.6分か かっています。

また、1つの事案で8回の受 入不可となったものが1件あり ました。

なお、全体を通して受入不可 理由の一番多いのは手術・患者 対応中の98回、次いで専門外 の88回となっています。

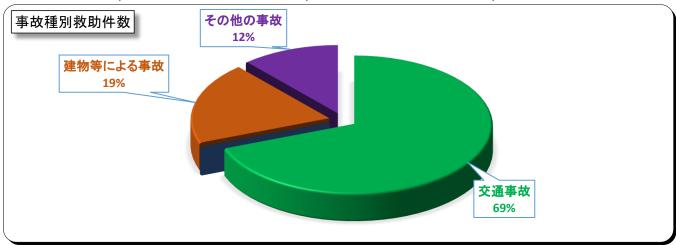
救助

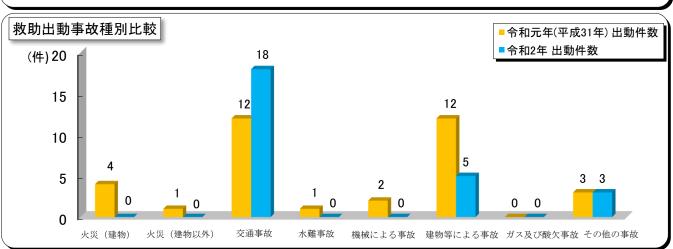
令和2年救助概要

令和2年における救助活動の状況は、救助出動件数26件(対前年比9件減)、救助活動件数12件(同5件減)、このうち救助人員数(救助された人)13人(同3人減)となっています。

事故種別ごとの救助出動件数の内訳は、「交通事故」18件(同6件増)、「建物等による事故」5件(同7件減)、「その他の事故」3件(同変動なし)となっています。「火災(建物)」、「火災(建物以外)」、「水難事故」、「機械による事故」、「ガス及び酸欠事故」は発生していません。事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、多い順から、「交通事故」7件、「建物等による事故」3件、「その他の事故」2件となっています。

区分		令和2年		令和え	元年(平成:	31年)		前年比較	
事故種別	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
火災(建物)	0	0	0	4	4	4	-4	-4	-4
火災(建物以外)	0	0	0	1	1	0	-1	-1	0
交通事故	18	7	8	12	4	4	6	3	4
水難事故	0	0	0	1	0	0	-1	0	0
機械による事故	0	0	0	2	0	0	-2	0	0
建物等による事故	5	3	3	12	6	6	-7	-3	-3
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故	3	2	2	3	2	2	0	0	0
合 計	26	12	13	35	17	16	-9	-5	-3



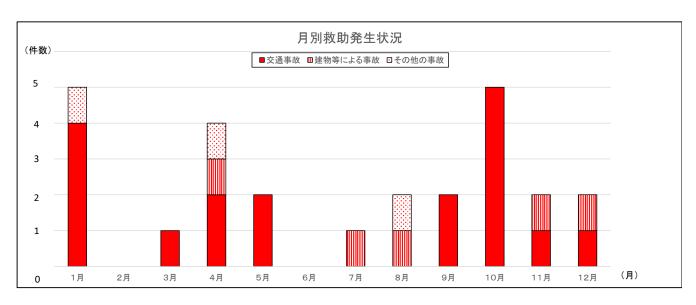


救助状況前年比較

	年 別		令和	12年		令	和元年(平成314	丰)		前年	比較	
区分		本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
	合 計	6	11	9	26	18	8	9	35	-12	3	0	-9
救	火災(建物)	0	0	0	0	2	1	1	4	-2	-1	-1	-4
	火災(建物以外)	0	0	0	0	0	1	0	1	0	-1	0	-1
助	交通事故	3	7	8	18	6	2	4	12	-3	5	4	6
件	水難事故	0	0	0	0	1	0	0	1	-1	0	0	-1
	機械による事故	0	0	0	0	0	1	1	2	0	-1	-1	-2
数	建物等による事故	1	3	1	5	8	2	2	12	-7	1	-1	-7
	ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(件)	その他の事故	2	1	0	3	1	1	1	3	1	0	-1	0
萝	要救助者数 (人)	4	6	3	13	8	4	4	16	-4	2	-1	-3
Н	出動人員(人)	47	108	85	240	193	103	95	391	-146	5	-10	-151

月別救助発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	火災(建物)													0
救	火災(建物以外)													0
助	交通事故	4		1	2	2				2	5	1	1	18
	水難事故													0
件	機械による事故													0
数	建物等による事故				1			1	1			1	1	5
	ガス及び酸欠事故													0
(件)	その他の事故	1			1				1					3
(17)	合計	5	0	1	4	2	0	1	2	2	5	2	2	26



時間別救助発生状況

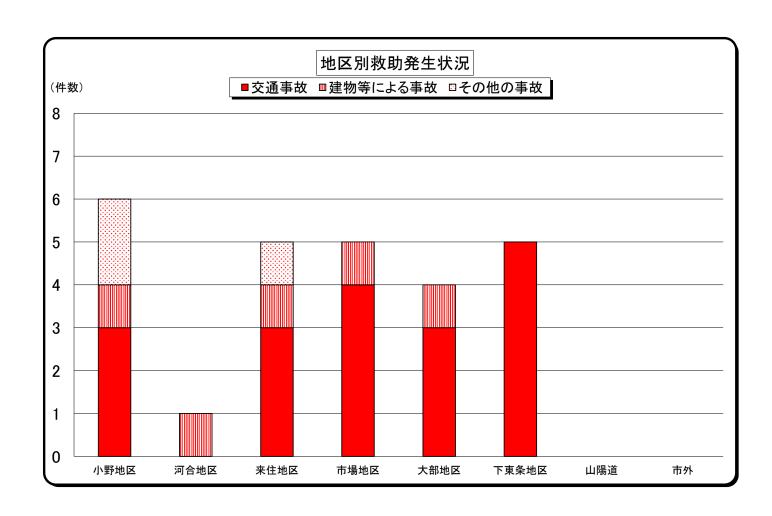
月別																救助	種別				
時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災 建物	火災 ^{建物以外}	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	合計
0時~1時										1					1						1
1時~2時																					0
2時~3時																					0
3時~4時			1									1			1			1			2
4時~5時																					0
5時~6時																					0
6時~7時										1		1			2						2
7時~8時				2											1			1			2
8時~9時	1				1				1						3						3
9時~10時	2														1					1	2
10時~11時										1					1						1
11時~12時																					0
12時~13時																					0
13時~14時					1				1						2						2
14時~15時				1						1	1				2					1	3
15時~16時								1		1					1					1	2
16時~17時																					0
17時~18時	1														1						1
18時~19時	1						1	1							1			2			3
19時~20時											1							1			1
20時~21時				1											1						1
21時~22時																					0
22時~23時																					0
23時~24時																					0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	0	1	4	2	0	1	2	2	5	2	2	0	0	18	0	0	5	0	3	26

曜日別救助発生状況

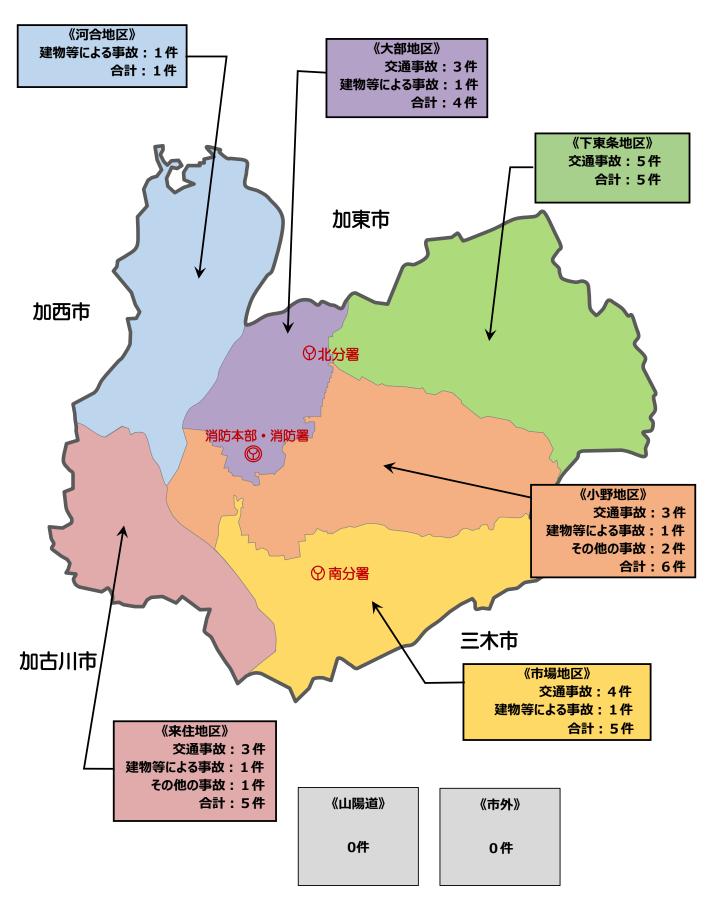
月別		0.11	о. П	4.17		о П		0.11	0.11	100		10.0				救助	種別				A =1
曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災 ^{建物}	火災 _{建物以外}	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	合計
日曜日																					0
月曜日				1								1			1			1			2
火曜日	1							1		3	1				5					1	6
水曜日	3		1	1											3					2	5
木曜日	1				1					1	1				3			1			4
金曜日				2				1	1			1			3			2			5
土曜日					1		1		1	1					3			1			4
不 明																					0
合 計	5	0	1	4	2	0	1	2	2	5	2	2	0	0	18	0	0	5	0	3	26

地区別救助発生状況

地区別種 別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	山陽道	市外	合 計
火災(建物)									0
火災(建物以外)									0
交通事故	3		3	4	3	5			18
水難事故									0
機械による事故									0
建物等による事故	1	1	1	1	1				5
ガス及び酸欠事故									0
その他の事故	2		1						3
件数合計	6	1	5	5	4	5	0	0	26

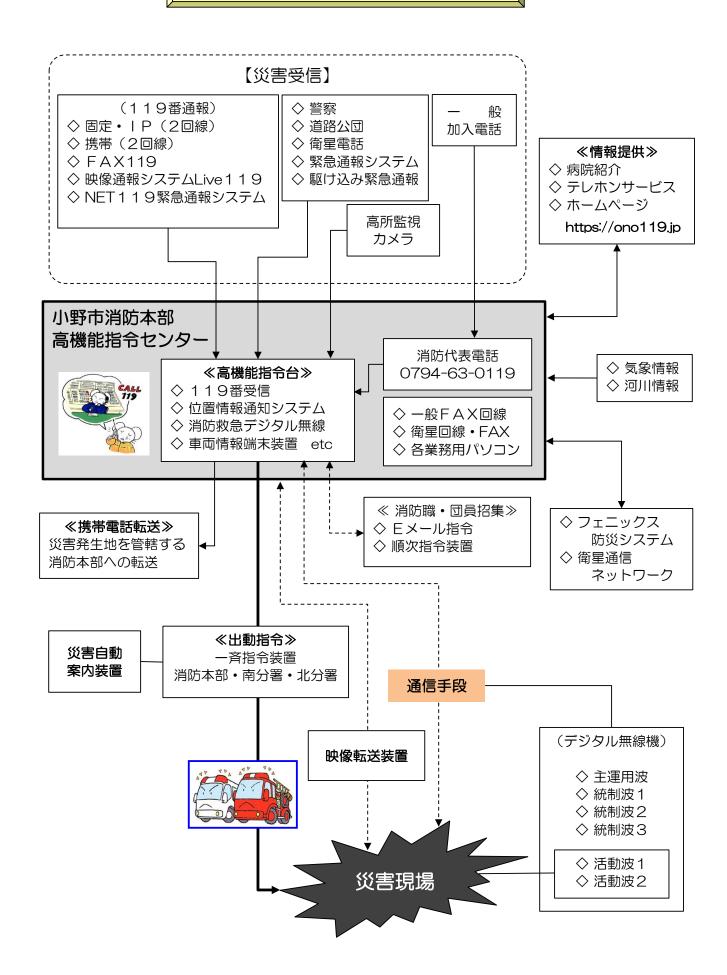


地区別救助発生状況全体図



指令

消防通信系統図



119番通報状況

令和2年中の総受信件数は、6,454件で前年(7,734件)より1,280件の減少で、1日平均17.7件となり、市民約7.5人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災24件(0.37%)、救急2,073件(32.12%)、救助26件(0.40%)、警戒99件(1.53%)となっており、全体の約34%を占めています。

医療機関の問い合せ件数は、1,779件(約28%)でした。

また、いたずらや間違い等緊急性のない通報(試験の953件除く)が1,500件(約23.2%)でした。

		災	害							
分	火	救	救	<u> </u>	試	いたずら	間違	問い合せ (医療機関	その他	合
月別	災	急	助	戒	験	6، ک	い	せ関	他	計
1月	3	217	5	8	83	1	6	305	143	771
2月	1	157	0	5	91	0	2	153	108	517
3月	3	170	1	8	67	0	7	129	119	504
4月	2	127	4	10	80	3	4	101	109	440
5月	2	166	2	15	82	2	5	133	105	512
6月	4	131	0	14	81	0	2	104	106	442
7月	0	184	1	11	71	2	7	135	111	522
8月	2	201	2	9	75	0	2	174	115	580
9月	3	183	2	6	72	0	4	134	133	537
10月	2	171	5	4	83	0	7	144	140	556
11月	2	165	2	4	77	0	9	124	119	502
12月	0	201	2	5	91	0	10	143	119	571
合計	24	2,073	26	99	953	8	65	1,779	1,427	6,454
比率(%)	0.37%	32.12%	0.40%	1.53%	14.77%	0.12%	1.01%	27.56%	22.11%	100%
前年件数	22	2,244	30	125	941	4	105	2,568	1,695	7,734
前年比	2	-171	-4	-26	12	4	-40	-789	-268	-1280

119番による口頭指導実施状況

項目月別	C P R	気道異物除去	熱傷手当	創傷手当	指趾切断手当	その他	合計
1月	3	0	0	4	0	1	8
2月	2	0	0	2	0	0	4
3月	3	0	0	5	0	0	8
4月	1	1	0	2	0	0	4
5月	6	0	0	4	0	0	10
6月	1	0	0	3	0	0	4
7月	2	1	0	8	0	0	11
8月	1	0	0	6	0	1	8
9月	3	1	0	3	0	0	7
10月	3	3	0	3	0	1	10
11月	6	0	0	5	0	0	11
12月	10	0	1	4	0	7	22
合計	41	6	1	49	0	10	107

情報テレフォンサービス利用件数

1月												
60	48	37	37	34	39	21	40	97	55	25	30	523

[※] 情報テレフォンサービスでは、医療機関情報及び災害状況案内を行っている。

(令和3年4月現在)

消防無線一覧

(1) デジタル無線設備(260MHz)

種別	基地局	陸上	-移動局(携帯		
	本 地问	車載型	携帯型	卓上•可搬型	備考
名称	出力10W	出力10W	出力5W	出力10W	
活動波1					
活動波2					
主運用波	1	17	25	3	統制波は3チャンネル
統制波1				(卓上型1、 可搬型2)	切替方式
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備(400MHz)

名称 種別	陸上移動局(携帯型)	備 考
第1波	35	
第2波	35	第3波は兵庫県内共通波
第3波	35	第4波は防災相互波
第4波	35	

気象状況

\ ₇ = 0	風向/	/風速(m/s)	复	ā温(°C	;)	相交	寸湿度((%)	雨量	(mm)
項 目	最	平	平	最	最	平	最	最	平	最	積
	大 瞬	均	均	高	低	均	高	低	均	大 時	算 雨 量
月別	間 風	風	風	気	気	気	湿	湿	湿	間 雨	一角
	速	速	向	温	温	温	度	度	度	量	\sim
1月	20.1 南	2	北北東	16.9	-1.8	6.5	99.7	29.7	75.6	6	46
2月	16 南西	1.7	北	18	-3.7	5.8	99.1	32.2	73.9	5	48.5
3月	15.5 北北東	2.2	北北東	19.7	-1.8	9.2	99.1	12.4	71.2	4.5	85
4月	18.5 北	2.3	北北東	22.9	1.5	11.7	98	19.9	63.2	10	148
5月	14.4 北	2.1	北北東	27.6	8.9	19.1	98.8	13.8	68.5	7	65
6月	12.6 南南東	2.1	北北東	31.4	15.5	23.3	98.8	28.3	74.6	19	208
7月	17.7 南南東	2.3	南	33.5	19.2	24.8	99.1	50	85.4	20	302
8月	19.5 南南東	2	南西	37	21.7	28.9	97.5	35	74.8	0	0
9月	24.3 南	2.4	北北東	35.6	15.5	24.2	99.4	30.5	77.8	17.5	123.5
10月	14.6 北	1.9	北北東	26.5	5.2	16.8	98.6	30.8	75.6	6	90.5
11月	17.5 南	1.6	北	23.8	0.3	12.1	99.4	33.8	79.3	5	35.5
12月	19 西北西	1.4	西北西	15.6	-4.2	5.5	99.7	30.5	75.7	2	14

(注)小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(令和3年4月1日現在)

全56部 総数661名

中分団

14部:140名

[特設部1][特設部2][神明部][垂井部][中町部][天神部][日吉部]

[長尾部][栄部][大開部][浄谷部][黒川部][葉多部][久下山部]

分団長1名·副分団長2名·部長14名·班長14名·団員109名

東分団

12部:149名

[特設部][中谷部][脇本部][万勝寺部][池田部][曽根部][船木部]

[福住部][中番部][菅田部][住吉部][久保木部]

分団長1名·副分団長2名·部長12名·班長12名·団員122名

西分団

寸

長

副

寸

長

3 名 9部:110名

[特設部][復井部][河合中部][河合西部][新部部][旭・井ノ口部]

[昭和部][三和部][粟生部]

分団長1名·副分団長2名·部長9名·班長9名·団員89名

南分団

10部:131名

[特設部][黍田部][阿形部][西脇部][市場部][樫山部][榊部]

[大島部][山田部][池尻部]

分団長1名·副分団長2名·部長10名·班長10名·団員108名

北分団

9部:112名

[高田部][喜多部][鹿野部][敷地部][住永部][王子部][中島部]

[広渡部][古川部]

分団長1名·副分団長2名·部長9名·班長9名·団員91名

女性分団

2部:15名

[第1部][第2部]

分団長1名·副分団長1名·部長2名·班長2名·団員9名

外に力

令和2年度消防団行事

	1	1	T
令和2年	4月4日	小野市消防団総合訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	4月12日	小野市消防大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため規模縮小
	5月15日	分団長会議	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	6月9日	小野市消防署·消防団合同水防訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	6月28日	小野市消防団操法大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	8月18日	小野まつり警戒(17日、18日)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	9月12日	分団長会議	
	10 月 25 日	ひょうご消防のつどい2020	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	11 月 1日	幹部会議	
	11 月 1日	実践中継訓練	
	11 月 9 月	秋季全国火災予防運動(9日~15日)	
	11 月 9 月	全国女性消防団員活性化大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	11 月 14 日	小学校区地域教育防災訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	12 月 6 日	第6回小野ハーフマラソン2019警備	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	12 月 29 日	年末警戒(29日~30日)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
令和3年	1月10日	分団長会議	
	1月26日	重要文化財防火訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	1 ~ 3 月	火災予防特別警戒(1月~3月)	市内全域(各分団)
	1 ~ 3 月	各地区消防水利点検	市内全域(各分団)
	2月6日	兵庫県女性消防団員技術研修会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	3月1日	春季全国火災予防運動(1日~7日)	市内全域(各分団)
	3月10日	臨時分団長会議	

^{*} 消防水利(消火栓·防火水槽)点検 年2回実施 ·各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

	組		織	人	員	消防ポンプ自動車	軽四積載車	小型動力ポンプ
	消	防	<u>1</u>		661	6	49	54
	寸	本	部		4	1	0	0
構	中	分	寸		140	2	12	14
成	東	分	र्ग		149	1	11	12
	西	分	寸		110	1	8	9
内	南	分	寸		131	1	9	10
容	北	分	寸		112	0	9	9
	女	性	分 団		15	0	0	0

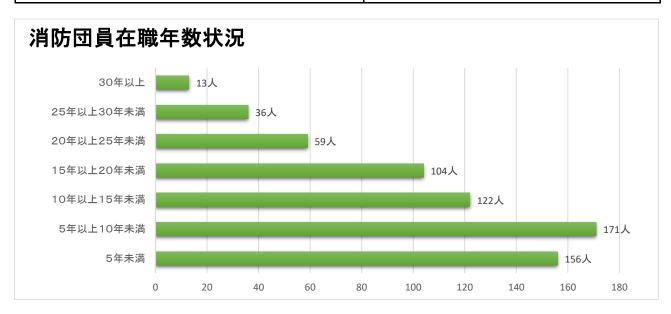
消防団員出動状況

(令和2年度)

	各種災	害出動	演	特	水		うい	
出動種別	火災	風	習	別	利	そ	ち火災:	合
区分	• 救 急	水	訓	数言	調	0	の等 誤 報	計
	救助	害	練	戒	查	他	· 誤 認	
出 動 回 数	7	0	8	13	115	495	0	638
前年出動回数	8		50	15	96	728	0	897
出 動 延 人 員	168	0	321	136	1,106	6,030	0	7,761
前年出動延人員	33	37	755	1,228	660	7,123	0	10,103

消防団員の在職年数状況

在職	年 数	人数(うち女性)			
5年未	満	156 (3)			
5年以上10	年未満	171 (3)			
10年以上15	5年未満	122 (1)			
15年以上20)年未満	104 (3)			
20年以上25	5年未満	59 (5)			
25年以上30)年未満	36 (0)			
30年以	.上	13 (0)			
合	計	661 (15)			



年齢別消防団員数

		1		1	1		()	7和3年4月	
階級	小計		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年齢	\1,b	うち女性	以 区	双凹岬	カ凹区	買り凹攻	💢 धन	小 区	凹 其
18歳未満	0								
18歳	1	1							1
19歳	0								
20歳	2								2
21歳	3	1							3
22歳	0								
23歳	5								5
24歳	6							1	5
25歳	6	1						1	6
26歳	3								3
27歳	11							2	9
28歳	12							5	7
29歳	17						1	2	14
30歳	18	1					4	3	11
31歳		1							
32歳	22	1					1	2	19 17
	21	1					3	1	
33歳	27						1	4	22
34歳	28	-					5		23
35歳	42	1				2	6	3	31
36歳	33	1				1	4	4	24
37歳	38				1	1	3	1	32
38歳	31					1	5	5	20
39歳	35						3	3	29
40歳	36					1	4		31
41歳	25							5	20
42歳	31				1		3	2	25
43歳	29						5	3	21
44歳	30						1	1	28
45歳	20					1	2	2	15
46歳	24					1	3		20
47歳	20	1				2		4	14
48歳	19	1			1	1		2	15
49歳	13						1		12
50歳	11								11
51歳	8	1		1	2				5
52歳	5				1				4
53歳	1								1
54歳	3			1					2
55歳	4	3					1		3
56歳	3							1	2
57歳	2							_	2
58歳	2			1					1
59歳	1		1						1
60歳	1		1						1
61歳	0								1
62歳	2								2
63歳	2	1							2
64歳	0	1							۷
65歳以上	8	1							8
合 計人数		_	1	า	C	11	5.6	56	
	661	15	50.0	3	6		56		528
平均年齢	39.1	42.5	59.0	54.3	46.8	41.3	38.0	37.1	38.2

消防団員等公務災害発生状況

(令和2年度)

			階級	及 別					傷病	程度	(13/11/2	
区 分 災害種別	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団	消防作業従事者	一週間未満	一週間~二週間	二週間~一ヶ月	一ヶ月~三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
水防活動中												
消防訓練中												
特別警戒中												
その他												
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

消防団表彰状況

種 別	年度是	ji]	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
消防庁長官	寸	体					
相例/1 区目	個	人	1	1	1	1	2
日本消防協会	団	体				1	
日本伯奶勋云	個	人	4	4	6	9	6
日本消防協会(特別)	寸	体					
日本特的協会(特別)	個	人					
兵庫県知事	寸	体					
兴	個	人	5	6	4	4	4
兵庫県消防協会	寸	体					
	個	人	18	22	17	21	16
北播消防協議会	寸	体	1	1	1	1	1
701年1月例 励晓云	個	人	15	15	15	15	15
小野市長	個	人	7	6	4	5	11
小野市消防団長	寸	体	10	10	10	10	10
小野川相例凹区	個	人	42	62	50	58	41

消防自動車の現況

≪特設部別≫

種別	分 団 別	車	番	車 種	年 式	級別	排気量	登録年月日
	団本部「おンプ車	800 そ	4428	いすゞ	平成27年	A - 2	2.99	平成27年12月10日
消自	^{四本可} 多機能車	800 ち	1016	日 産	令和2年		2.48	令和2年3月24日
防	中分団特設部	800 す	9295	日 野	平成18年	A-2	4.00	平成18年 3月22日
ポ動	十刀凹付取印	800 そ	235	トヨタ	平成24年	A - 2	4.00	平成24年11月13日
ン	東分団特設部	800 そ	1602	トヨタ	平成25年	A - 2	4.01	平成25年11月11日
プ車	西分団特設部	800 さ	7028	日 野	平成12年	A-2	4.89	平成12年12月12日
	南分団特設部	800 す	7970	日 野	平成17年	A-2	4.00	平成17年 9月 2日

中分団長尾部880 あ866三菱平成19年平成19年9月栄部880 あ227スズキ平成17年9月	29 日
神 明 部 880 あ 225 スズキ 平成17年 平成17年 9月 垂 井 部 880 あ 2568 三 菱 平成24年 平成24年 9月 中 町 部 880 あ 2913 三 菱 平成25年 平成25年10月 天 神 部 880 あ 5448 三 菱 令和2年 今和 2年 9月 日 吉 部 880 あ 2147 三 菱 平成23年 平成23年 7月 長 尾 部 880 あ 866 三 菱 平成19年 平成19年 9月 常 880 あ 227 スズキ 平成17年 平成17年 9月	
垂 井 部 880 あ 2568 三 菱平成24年 平成24年 9月中 町 部 880 あ 2913 三 菱平成25年 平成25年10月天 神 部 880 あ 5448 三 菱令和2年 9月日 吉 部 880 あ 2147 三 菱平成23年 平成23年 7月長 尾 部 880 あ 866 三 菱平成19年 9月栄 部 880 あ 227 スズキ平成17年 9月	
中町 部 880 あ 2913 三菱 平成25年 平成25年10月 天神 部 880 あ 5448 三菱 令和2年 令和2年9月 日吉 部 880 あ 2147 三菱 平成23年 平成23年7月 長尾 部 880 あ 866 三菱 平成19年 平成19年9月 栄 部 880 あ 227 スズキ 平成17年 平成17年9月	
天神部880あ5448三菱令和2年9月日吉部880あ2147三菱平成23年 平成23年 7月長尾部880あ866三菱平成19年 9月栄部880あ227スズキ平成17年 9月	27 日
天神部880あ5448三菱令和2年9月日吉部880あ2147三菱平成23年 平成23年 7月長尾部880あ866三菱平成19年 9月栄部880あ227スズキ平成17年 9月	8 日
中分団日 吉 部 880 あ 2147 三 菱平成23年 平成23年 7月長 尾 部 880 あ 866 三 菱平成19年 9月栄 部 880 あ 227 スズキ平成17年 9月	18 日
中分団長尾部880 あ866三菱平成19年平成19年9月栄部880 あ227スズキ平成17年9月	22 日
	14 日
十	29 日
	8 目
浄 谷 部 80 あ 2909 三 菱 平成15年 平成15年 8月	28 日
黒 川 部 880 あ 5140 ダイハツ 令和元年 令和元年11月	
葉 多 部 880 あ 3274 ダイハツ 平成26年 平成26年10月	
久下山部 880 あ 1227 スバル 平成20年 平成20年 9月	8日
	14 日
	28 日
万勝寺部 80 あ 2643 スバル 平成14年 平成14年 8月	8日
	18日
曽根部 880 あ 5139 ダイハツ 令和元年 令和元年11月	
	23 日
	25日
	23 日
2	
、	27日
プライ 復 井 部 880 あ 4702 三 菱 平成30年 平成30年 9月 河合中 部 80 あ 2158 三 菱 平成12年 8月	6日
個	28 日 16 日
載	8日
車 西分団 相・井ノ口部 880 あ 1825 三 菱 平成14年 平成14年 8月 旭・井ノ口部 880 あ 1825 三 菱 平成22年 7月	
	7日
四 二 和 部 80 あ 3218 ススキ 平成16年 平成16年 9月 栗 生 部 880 あ 4703 三 菱 平成30年 平成30年 9月	6日
素 田 部 880 あ 1226 スバル 平成20年 平成20年 9月	8日
阿 形 部 80 あ 1967 スバル 平成11年 平成11年10月	
西脇部 80 あ 1969 スバル 平成11年 平成11年10月	
市場部 80 あ 1395 スバル 平成8年 平成8年 7月	
	13 日
大 島 部 880 あ 3943 ダイハツ 平成28年 平成28年 9月	
	29 日
池 尻 部 80 あ 3219 スズキ 平成16年 平成16年 9月	21 日
高 田 部 80 あ 2910 三菱 平成15年 平成15年 8月	28 日
喜 多 部 880 あ 2148 三 菱 平成23年 平成23年 7月	22 日
鹿 野 部 880 あ 3273 ダイハツ 平成26年 平成26年10月	28 日
敷 地 部 880 あ 1565 スバル 平成21年 平成21年 9月	
北分団 住 永 部 880 あ 4355 ダイハツ 平成29年 平成29年 10月	
	23 日
	23 日
広渡部 880 あ 4356 ダイハツ 平成29年 平成29年 10月	
古 川 部 880 あ 1566 スバル 平成21年 平成21年 9月	11日

小野消防の沿革

1954年(昭和29年)

12月 6か町村(小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村)の合併により、 小野市が発足 同時に『小野市連合消防団』(1,375名)を組織

1956年(昭和31年)

- 4月 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、 特設分団(分団員50名)を発足
- 10月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1957年(昭和32年)

5月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1960年(昭和35年)

4月 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年(昭和38年)

- 4月 榊分団を新設
- 10月 水槽付消防自動車を配備

1965年(昭和40年)

- 4月 消防本部及び消防署を設置 大開分団を新設し、団員1,414名となる。
- **12月** 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川(通称草加野)の両地区の消防行政を、 小野市消防本部が受託する。

1966年(昭和41年)

12月 救急自動車(A級)を配備し、救急業務を開始

1968年(昭和43年)

- 4月 消防団員の定員を1,144名とする。 東部特設分団(小田)を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 5月 消防ポンプ自動車(BD-1型)を受納

1970年(昭和45年)

- 2月 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
- 4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
- 11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年(昭和46年)

- 4月 化学消防自動車(I型)を配備
- 6月 消防庁舎新築

1972年(昭和47年)

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。 また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより 消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備

1973年(昭和48年)

10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年(昭和49年)

- 1月 救急自動車(B3型)を配備(更新)
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置 消防団機構は、5分団54部となる。

1975年(昭和50年)

3月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1977年(昭和52年)

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新) 車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車(RH42VB型)の寄贈を受ける。

1979年(昭和54年)

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置(本部に親局、市内9か所に子局)を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備 消防ポンプ自動車(BD-I級)を受納

1980年(昭和55年)

3月 指令車を配備

1981年(昭和56年)

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
- **12月** 救急車(RH45VB型)の寄贈を受ける。

1982年(昭和57年)

- 3月 消防署の車庫を増築(市役所第4庁舎)
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年(昭和58年)

12月 東分団特設部詰所増改築

1984年(昭和59年)

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(A1級)を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年(昭和60年)

2月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

1986年(昭和61年)

- 4月 消防本部に水防倉庫設置
- 5月 殺菌灯付ロッカー(救急用)の寄贈を受ける。
- 10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年(昭和62年)

- 6月 広報車の寄贈を受ける。
- 10月 救急車の寄贈を受ける。 気象観測装置整備

1988年(昭和63年)

- 1月 西分団に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備(更新)
- 2月 消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)
- 3月 消防訓を制定
- 4月 指令車を配備(更新)
- 8月 小型動力ポンプ積載車を配備
- 11月 南分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1989年(平成元年)

- 1月 水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を配備(更新)
- 8月 普通貨物自動車を配備(更新)
- **11月** 救急車(2B型)の寄贈を受ける。
- 12月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1990年(平成2年)

3月 消防緊急情報システム(I型)を配置

1991年(平成3年)

3月 全国共通波(第1波)基地局設備整備 消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年(平成4年)

- **2月** 南分署庁舎新築(延678.85m²)
- 3月 署所端末装置及び消防無線(救急波)整備事業完了 救急自動車(2B型)の寄贈を受ける。

1993年(平成5年)

- 1月 河合水防倉庫新築
- 3月 消防庁舎改修工事完成 南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫(17.5㎡)を 増築、化学消火薬剤10klを備蓄
- 8月 消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受ける。
- 11月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1994年(平成6年)

3月 準高規格救急車を配備

1995年(平成7年)

- 2月 東分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)
- 3月 消防緊急通信指令施設(地図等検索装置)整備事業完了 市町村波基地局消防無線設備を整備(更新)
- 12月 救助工作車(Ⅱ型)を配備

1996年(平成8年)

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始(準高規格救急自動車の更新) 県内共通波基地局消防無線設備を整備(更新)

1997年(平成9年)

- 3月 耐震性貯水槽飲料水兼用(100㎡型)を整備
- 6月 査察車を配備
- 7月 指令車を配備(更新)

1998年(平成10年)

- 1月 全国共通波(第1、2波)基地局消防無線設備整備
- 3月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)
- 10月 小型動力ポンプ積載車を配備(更新) 指揮広報車を配備
- 12月 コミュニティー消防センター(中分団特設部詰所併設)新築 南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年(平成11年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車の更新)
- 4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年(平成12年)

12月 西分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2001年(平成13年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車を更新)
- 4月 消防団女性分団が発足
- 9月 屈折はしご自動車(20m級)を配備(更新)

2002年(平成14年)

- 8月 総合気象観測装置整備(更新)
- 9月 消防職・団員召集システム整備

2004年(平成16年)

- 4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。
- 12月 消防資機材搬送車を配備(更新)

2005年(平成17年)

- 2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
- 3月 下東条地域防災拠点施設(東分団特設部詰所)建設
- 9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2006年(平成18年)

3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2007年(平成19年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年(平成20年)

2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年(平成22年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 3月 通信指令システム更新(位置情報システム導入)
- 3月 消防庁舎耐震化
- 4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年(平成23年)

- 5月 査察車を配備(更新)
- 10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車(B2ポンプ)を配備

2012年(平成24年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 4月 消防救急デジタル無線 電波伝搬調査
- 11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2013年(平成25年)

- 1月 消防救急デジタル無線 基本・実施設計
- 3月 小野市防災センター起工
- 7月 軽四資機材積載車を配備(更新)
- 11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2014年(平成26年)

- 4月 小野市防災センター開設
- 4月 消防救急デジタル無線 整備
- 4月 臨時北部救急拠点開設

2015年(平成27年)

- 2月 救助工作車(Ⅱ型)を配備(更新)
- 4月 小野市消防本部発足50周年
- 12月 総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受ける。

2016年(平成28年)

- 3月 小野市消防本部発足50周年誌「小野消防の軌跡」発刊
- 5月 35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配備(更新)
- 9月 災害対応特殊水槽車Ⅱ型を配備(更新)

2017年(平成29年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(増車)
- 3月 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備(更新)

2018年(平成30年)

- 4月 北分署庁舎新築(延324㎡)
- 12月 公益財団法人日本消防協会から防災活動車の寄贈を受ける。

2019年(令和元年)

11月 南分署大改修工事

2020年(令和2年)

- 3月 総務省消防庁から救助資器材・小型動力ポンプ搭載多機能車の無償貸与を受ける。
- 3月 国内の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2部勤務から3部勤務体制に移行する。
- 7月 全国に先駆けて、映像通報システム「LIVE119」の運用を開始する。

消防応援協定の締結状況

締結年月日	内 容		
昭和52年2月1日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との 申し合わせ		
平成20年3月5日(改)	加古川市と消防相互応援に関する協定		
平成23年3月14日(改)	三木市と消防相互応援に関する協定		
平成23年5月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定		
平成25年10月23日(改)	兵庫県広域消防相互応援に関する協定		
平成30年4月1日(改)	山陽自動車道消防相互応援に関する協定		

防火·林野庁·危険物標語

【全国統一防火標語】

【林野庁統一標語】

【小野市統一防火標語】

おうち時間 家族で点検 火の始末 消すまでは あなたの責任 火の始末

【危険物安全週間推進標語】

あなたです 森を火事から 守るのは 事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム

小野市防火ポスター

令和2年募集優秀作品

小学生の部



消防長賞



団長賞



防火協会長賞

般の部



消防長賞



団長賞



防火協会長賞

令和2年版 消防年報

発行年月 令和3年7月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電 話 (0794) 63-0119

FAX (0794) 63-7199

Eメール: syobo@city.ono.hyogo.jp

消防本部ホームページ: https://ono119.jp